

**高知県立大学 健康栄養学部**

# **学 部 報**

**第 8 号**

**平成 2 9 年度 ( 2 0 1 7 ) 年度**



## 「学部報」第8号発刊にあたって

健康栄養学部長 村上 尚

「学部報」第8号をまとめているところでビッグニュースが入ってきました。健康栄養学部の学生団体の一つ、「COME☆RISH」が平成30年度「第2回食育活動表彰」のボランティア部門・大学等の部で農林水産大臣賞を受賞したのです。学生の活動が認められたことは、それに関わった教員にとっても嬉しい限りです。COME☆RISHは、高岡郡中土佐町大野見地区で栽培されている特別栽培米（大野見エコ米）の田植えの誘いを受けたことがきっかけで、その活動を開始しました。大野見エコ米の官能試験を行って、このお米の特徴を理解し、地域の食材を活用したレシピを考えました。そしてこれをもとに、飲食店従業員の方々に対する米の炊き方講座や小学生・中学生に対する朝食料理教室、定食提供、そして企業との弁当の共同開発などを行っています。これらの活動のうち米作りや米の炊き方などは、栽培している農家の方々から教えてもらったわけですが、農家の方々もCOME☆RISHの活動に触発され、自ら大野見エコ米の魅力を発信するなど意識が変わり、生産量、売り上げの向上に繋がったことは大きな成果だと考えています。

さて、平成29年度末に中学校・高等学校教諭（家庭）免許状を取得した最後の学生が卒業し、そのうち2名が家庭科教諭として採用されました。近年、一度に複数の卒業生が家庭科教諭として採用されたことはなかったので、これこそ有終の美といいでしょう。今回の採用を考えると中学校・高等学校教諭（家庭）免許状を取得するための課程を廃止することになったのはとても残念ですが、教育職員免許法の改正に伴い、教職課程の再課程認定審査が平成30年度中に行われることを考えると、廃止するタイミングとしてはちょうど良かったと思っています。

健康栄養学部「学部報」は、毎年、健康栄養学部の取り組みを広く知っていただくための刊行物として発行してきました。健康栄養学部には、COME☆RISHの活動のように地域の生活と密着に関わった課題に取り組んでいる教員が多く存在します。本学部報でこれらの一端をご覧いただければと考えております。

## 健康栄養学部の教育理念・目的

### (理念)

第1条 高知県立大学健康栄養学部は、高知県立大学学則第1条に定める目的を達成するため、以下の理念のもとに設置する。

人間や健康、環境の本質を理解しながら、生命の基源である「食」を探求し、人々が健康に生活できるよう幅広い分野で貢献できる人材を養成する。

### (目的)

第2条 高知県立大学健康栄養学部は、第1条の理念のもと、以下の各号の目的を達成するために、教育研究を行う。

1. 人間や健康、環境の本質を理解する能力の養成

ヒトの健康を規定する人間や環境の本質を理解する能力を養成する。

2. 専門的知識・技術、科学的思考力の養成

健康の保持増進、傷病の回復、予防のために必要な専門的知識と実践的知識・技術を養成し、それらを通じて科学的思考力を養う。

3. 社会の変化を予測し、異業種と協働して問題を解決する能力の養成

変化する社会にあって、要求される事柄を察知し、管理栄養士として他の保健医療職者と連携を取りながら、積極的に問題を解決することのできる能力を養う。

4. 豊かな人間性を培う

自らの専門性にたちながら主体的に広く教養を身につけ、社会構成員としての求められる公共性や倫理観を養い、共生社会の実現に必要な真に豊かな人間性を培う。

5. 地域に貢献できる能力の養成

地域の特性を生かした教育・研究を通じ、地域社会の健康の保持増進、傷病の回復、予防のために貢献できる能力を養成する。

# 目 次

「学部報」第8号発刊にあたって	i
健康栄養学部の教育理念・目的	ii

## I. 学部の記録

1. 2017年度学生数一覧	3
2. 長期在学・休学・退学の状況	3
3. 健康栄養学部教員一覧	3
4. 授業科目と教員配置	4
5. 外部資金の導入	5
6. 研究成果の公表の状況	6
7. 国内外学会等への参加	8
8. 講習会・公開講座	12
9. 地域・学外の活動	13
10. 国際交流活動	16
11. 国家試験対策委員会	19
12. 学部就職支援	21
13. インターンシップ	26
14. ファカルティ・ディベロップメント (FD) 活動	26
15. 高知医療センター・高知県立大学包 括的連携協議会 健康栄養連携部会 事業	27
16. 災害プロジェクト委員会	29
17. 委員会一覧	31
18. 入学試験状況の概要 (2018年度)	32
19. 進学説明会・本学訪問・365日オー プンキャンパス・出前授業状況	32

## II. 学生の記録

1. 学生の都道府県別出身高校数	35
2. 教育における学外施設の利用状況	36
3. 資格所得状況の概要	37
4. 国家試験の合格者状況 (新卒者)	37
5. 就職状況の概要	37
6. インターンシップの実施状況	37
7. 学生の海外研修等	37
8. 卒業研究題目一覧	38
9. 学生の受賞	39
10. 学生の課外活動・イベントで特徴的 な事項の一覧	39

## III. 教員の教育・研究・地域貢献活動

1. 村上 尚	43
2. 稲井 玲子	44
3. 小林 淳	46
4. 渡邊 浩幸	47
5. 荒牧 礼子	50
6. 鈴木 麻希子	52
7. 西岡 道子	53
8. 島田 郁子	54
9. 竹井 悠一郎	58
10. 廣内 智子	60
11. 隅田 有公子	62
12. 田中 守	64
13. 沼田 聡	68
14. 彼末 富貴	71
15. 川村 真美	73



# I. 学部の記録

1. 2017 年度学生数一覧
2. 長期在学・休学・退学の状況
3. 健康栄養学部教員一覧
4. 授業科目と教員配置
5. 外部資金の導入
6. 研究成果の公表の状況
7. 国内外学会等への参加
8. 講習会・公開講座
9. 地域・学外の活動
10. 国際交流活動
11. 国家試験対策委員会
12. 学部就職支援
13. インターンシップ
14. ファカルティ・ディベロップメント (FD) 活動
15. 高知医療センター・高知県立大学包括的連携協議会 健康栄養連携部会事業
16. 災害プロジェクト委員会
17. 委員会一覧
18. 入学試験状況の概要 (2018 年度)
19. 進学説明会・本学訪問・365 日オープンキャンパス・出前授業状況





### 1. 2017年度学生数一覧

( ) 内：男子

在学学生数						科目等履修生
1回生	2回生	3回生	4回生	5回生～	合計	
40 (5)	41 (5)	42 (4)	41 (1)	0	164 (15)	0

### 2. 長期在学・休学・退学の状況 (2017年度)

年次別休学者数	年次別退学者数	長期履修者数 (5～7年)
0	0	0

### 3. 健康栄養学部教員一覧

職名	氏名	専門分野 (担当科目)
教授 (学部長)	村上 尚	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち
教授	稲井 玲子	栄養教育論
教授	小林 淳	社会・環境と健康
教授	渡邊 浩幸	食品学
准教授	荒牧 礼子	公衆栄養学
准教授	鈴木 麻希子	栄養学
准教授	西岡 道子	調理学
講師	島田 郁子	給食経営管理
講師	竹井 悠一郎	臨床栄養学
講師	廣内 智子	臨床栄養学実習
助教	隅田 有公子	臨床栄養学実習・地域公衆栄養学実習
助教	田中 守	生化学・栄養学実験
助教	沼田 聡	給食経営管理実習
助手	彼末 富貴	調理学実習
助手	川村 真美	食品学実験

#### 4. 授業科目と教員配置

他学部教員・下線 非常勤・(非)

科目名	担当者
<b>基礎科目</b>	
健康栄養学基礎	渡邊浩幸, 田中守, 沼田聡
健康栄養学応用	<u>一色健司</u>
<b>社会・環境と健康</b>	
地域健康論	小林淳
介護論	荒牧礼子, <u>河内康文</u> , 三好弥生, 竹井悠一郎
食と介護	荒牧礼子, 竹井悠一郎
保健医療福祉論	田中きよむ
地域医療論	未開講
公衆衛生学	小林淳
環境衛生学実習	小林淳
健康情報論実習	<u>名和真一</u>
<b>人体の構造と機能及び疾病の成り立ち</b>	
生化学Ⅰ	(非)久保田賢
生化学Ⅱ	小林淳
生化学実験	(非)富永麻理, (非)久保田賢
人体の構造と機能Ⅰ	村上尚
人体の構造と機能Ⅱ	村上尚
臨床医科学	村上尚
疾病論Ⅰ	村上尚
疾病論Ⅱ	村上尚
運動生理学	(非)片山訓博
生体科学実験・実習	村上尚
<b>食べ物と健康</b>	
食品学	渡邊浩幸
食品学実験Ⅰ	渡邊浩幸
食品学実験Ⅱ	渡邊浩幸
食材学	渡邊浩幸
食品の栄養素と機能	渡邊浩幸
食品衛生学	渡邊浩幸, 村上尚
食品衛生学実験	渡邊浩幸, 村上尚
フードシステム学	(非)田村安興
調理学	西岡道子
調理学実習Ⅰ	西岡道子
調理学実習Ⅱ	西岡道子
調理学実習Ⅲ	西岡道子
調理科学実験	未開講
<b>基礎栄養学</b>	
基礎栄養学	鈴木麻希子
基礎栄養学実験	鈴木麻希子
<b>応用栄養学</b>	
応用栄養学Ⅰ	鈴木麻希子
応用栄養学Ⅱ	鈴木麻希子
応用栄養学実習	鈴木麻希子
ライフステージ栄養学	鈴木麻希子
<b>栄養教育論</b>	
栄養教育論Ⅰ	稲井玲子
栄養教育論Ⅱ	稲井玲子
栄養教育論Ⅲ	稲井玲子

科目名	担当者
栄養教育論実習Ⅰ	稲井玲子
栄養教育論実習Ⅱ	稲井玲子
学校栄養指導論Ⅰ	稲井玲子
学校栄養指導論Ⅱ	稲井玲子
<b>臨床栄養学</b>	
臨床栄養学Ⅰ	竹井悠一郎
臨床栄養学Ⅱ	竹井悠一郎
臨床栄養学Ⅲ	竹井悠一郎
臨床実践栄養学	竹井悠一郎, 廣内智子
臨床栄養学実習Ⅰ	廣内智子
臨床栄養学実習Ⅱ	廣内智子
<b>公衆栄養学</b>	
公衆栄養学Ⅰ	荒牧礼子
公衆栄養学Ⅱ	荒牧礼子
地域公衆栄養学実習	荒牧礼子
<b>給食経営管理論</b>	
給食経営管理論	島田郁子
給食計画論	島田郁子
給食経営管理実習Ⅰ	島田郁子
給食経営管理実習Ⅱ	島田郁子
<b>総合演習</b>	
管理栄養士総合演習Ⅰ	荒牧礼子, 廣内智子, 島田郁子, 竹井悠一郎
管理栄養士総合演習Ⅱ	村上尚, 稲井玲子, 小林淳, 渡邊浩幸, 荒牧礼子, 鈴木麻希子, 西岡道子, 島田郁子, 竹井悠一郎, 廣内智子
<b>臨地実習</b>	
給食経営管理臨地実習	島田郁子
臨床栄養学臨地実習Ⅰ	廣内智子, 竹井悠一郎
臨床栄養学臨地実習Ⅱ	廣内智子, 竹井悠一郎
地域公衆栄養学臨地実習	荒牧礼子
地域実践栄養学臨地実習	荒牧礼子, 廣内智子, 島田郁子, 竹井悠一郎
<b>関連科目</b>	
生活経営学(生活経済学を含む)	未開講
家族関係論	<u>池添志乃</u>
保育学(実習及び家庭看護を含む)	(非)川俣美砂子,
衣生活学	未開講
服飾造形実習Ⅰ	未開講
服飾造形実習Ⅱ	未開講
住居学(製図を含む)	未開講
家庭機械・家庭電気	未開講
<b>その他</b>	
企業実習	学年担当教員
<b>課題研究</b>	
卒業研究	各専任教員

## 5. 外部資金の導入

助成機関名	研究課題名	研究代表者	共同研究者	年度	助成額
2015 年度学術研究助成基金助成金（基盤研究(C)）課題番号：15K00833	新規卵白アレルギー L-PGDS の高感度定量法の開発と低アレルギー化	鈴木麻希子	沼田 聡, 田中 守	2015～ 2017	総額 4,680 千円
2016 年度学術研究助成基金助成金（若手研究B）課題番号：16K16283	発災後の避難所生活における栄養管理に関する研究－東日本大震災の食事画像分析から－	廣内智子		2016～ 2017	総額 2,600 千円
2016 年度学術研究助成基金助成金（若手研究(B)）課題番号：16K21299	高知県に自生する未利用天然資源の機能性評価－抗アレルギー活性を指標として－	田中 守		2016～ 2018	総額 3,640 千円
2017 年度学術研究助成基金助成金（若手研究(B)）課題番号：17K12907	臨床の場で行われている経腸栄養剤の半固形化法の問題解析と標準化法の提案	隅田有公子		2017～ 2018	総額 4,030 千円
平成 28-30 年度高知県産学官連携産業創出研究推進事業（中期テーマ）	食用カンナの多分野活用の研究	渡邊浩幸	宮崎 彰, 松川和嗣, 水上 元, 岡部正彦, 田中 守, 竹井悠一郎	2016～ 2018	総額 29,908 千円
受託研究（公益財団法人 高知県牧野記念財団 高知県立牧野植物園）	牧野富太郎ゆかりの有用植物の活用に向けた農商工医連携基盤の構築と事業化モデル	渡邊浩幸	田中 守	2016～ 2017	総額 1,000 千円
受託研究（株式会社協和）	生姜の体温上昇に関する研究	渡邊浩幸	竹井悠一郎, 田中 守, 沼田 聡	2016～ 2017	総額 3,894 千円
公益財団法人 農芸化学研究奨励会	Auraptene, a Citrus Flavonoid Attenuates the Aneurysm Formation by Anti-osteoclastogenic Function in Ca-P04-induced mouse model.	竹井悠一郎		2017	160 千円
栄養・食糧学基金助成国際交流助成	Anti-allergic Effects of Cirsium maritimum Makino In Vitro and In Vivo	田中 守		2017	総額 100 千円
高銀地域経済振興財団	高知県特産品のブランド価値を維持・上昇させるための含有量等分析法の確立に関する研究	小林 淳		2017	200 千円
平成 29 年度 高知県立大学 戦略的研究推進プロジェクト	中山間地域における生活圏の確保に向けて－土佐郡大川村における地域創造	飯高伸五	吉川 孝, 宇都宮千穂, 鈴木康郎, 山村靖彦, 島田郁子	2017～ 2018	総額 1,148 千円

## 6. 研究成果の公表の状況

### (1) 学術論文

著者	タイトル	雑誌名 (発行所)	号巻 ページ	発行 年
Ngatu, NR., Ikeda, M., Watanabe, H., Tanaka, M., Inoue, M.	Laxative Effects of Dietary Supplementation with Sujiaonori Algal Biomaterial in Japanese Adult Women with Functional Constipation: A Case Study	Journal of Funcrional Biomaterials	8, doi:10.3390 /jfb8020015	2017
Ngatu, NR., Tanaka, M., Ikeda, M., Inoue, M., Kanbara, S., Nojima, S.	Sujiaonori-derived Algal Biomaterials Inhibit Allergic Reaction in Allergen-sensitized RBL-2H3 Cell Line and Improve Skin Health in Humans.	Journal of Funcrional Biomaterials	8, doi:10.3390 /jfb8030037	2017
T. Tanaka, Y. Takei, N. Zaima, T. Moriyama, D. Yamanouchi.	Hyperglycemia Suppresses RANKL-Induced Osteoclast Differentiation through LXR $\beta$ Expression in RAW264.7 Cells.	Journal of Nutritional Science and Vitaminology	63(1), p 28-34.	2017
Tanaka, M., Suzuki, M., Takei, Y., Okamoto, T., Watanabe, H.	<i>Cirsium maritimum</i> Makino Inhibits the Antigen/IgE- mediated Allergic Response <i>In Vitro</i> and <i>In Vivo</i> .	Journal of Agricultural and Food Chemistry		2017
I. Shimada, S. Numata, M. Tanaka, T. Hirouchi, C. Tokuhiko, K. Watanabe, and T. Okamoto.	Creation of Survival food recipes by Students in Practicum for a Dietitian Course at University.	Proceeding of the International Conference on Food Science and Nutrition 2017	ISBN: 978- 967-0582- 76-4 <a href="http://www.icfsnmalaysia2017.org/proceedings.html">http://www. icfsnmalays ia2017.org/ proceedings .html</a>	2017
I. Shimada, M. Tanaka, T. Hirouchi, K. Watanabe, C. Tokuhiko, and S. Numata	Studies on improving the amount of animal protein intake among the Elderly Application of A meat softener to chicken eggs.	Proceeding of the International Conference on Food Science and Nutrition 2017	ISBN: 978- 967-0582- 76-4 <a href="http://www.icfsnmalaysia2017.org/proceedings.html">http://www. icfsnmalays ia2017.org/ proceedings .html</a>	
C. Tokuhiko, I. Shimada and K. Kitamura.	Review of Methods for Evaluating Shokuiku or Dietary Education from the Perspective of School Lunch Officials.	Proceeding of the International Conference on Food Science and Nutrition 2017	ISBN: 978- 967-0582- 76-4 <a href="http://www.icfsnmalaysia2017.org/proceedings.html">http://www. icfsnmalays ia2017.org/ proceedings .html</a>	
K. Watanabe, M. Tanaka, I. Shimada, K. Juman, K. Saga, K. Sakamoto, S. Morita, and M. Yamashita.	Characterization Analysis of Loss of Appetite among Cancer patients and Development of a Monitoring Check Sheet Corresponding to Changes in Appetite.	Proceeding of the International Conference on Food Science and Nutrition 2017	ISBN: 978- 967-0582- 76-4 <a href="http://www.icfsnmalaysia2017.org/proceedings.html">http://www. icfsnmalays ia2017.org/ proceedings .html</a>	

著者	タイトル	雑誌名 (発行所)	号巻 ページ	発行 年
S. Numata, M. Tanaka and I. Shimada.	Learn from the Region, Grow up in the Region—StudentActivities through Rice with Local Government and RegionalPeople.	Proceeding of the International Conference on Food Science and Nutrition 2017	ISBN: 978- 967-0582- 76-4 <a href="http://www.icfsnmalaysia2017.org/proceedings.html">http://www. icfsnmalays ia2017.org/ proceedings .html</a>	
Nlandu Roger Ngatu, Mitsunori Ikeda, Hiroyuki Watanabe, Mamoru Tanaka, Masataka Inoue, Sakiko Kanbara and Sayumi Nojima.	Adiponectin Replenishing Property of Sujiaonori Algal Biomaterial in Humans.	Mar. Drugs	pii: E32. doi: 10.3390/md1 5020032.	2017
田中 守, 鈴木大進, 竹 井悠一郎, 川村真美, 渡 邊浩幸	マウスの抗体産生能に及ぼす ハマアザミ酢酸エチル抽出物 の影響	日本未病シス テム学会雑誌	23(2), 23- 29.	2017
池田啓一, 菅原幸子, 堀 川靖子, 小林 淳	知識醸成段階での特別講義 —特別講師-学生間での質疑応 答を活発にするための工夫—	北陸大学紀要	42, 1-8	2017
井上健朗, 隅田有公子, 吉岡理枝, 小原弘子, 森 下安子, 池田光徳	自治体「地域ケア会議」の質 的評価指標の作成の試み	高知県立大学 紀要社会福祉 学部編	67, 1-16	2018
森下安子, 小原弘子, 井上健 朗, 隅田有公子, 吉岡理枝, 池田光徳	「地域ケア会議プロジェクト」3年間 の活動と成果	高知県立大学 紀要 看護学 部編	67, 35-42	2018
島田 郁子, 上岡菜由, 森 野由加奈, 西美佳, 宮道 舞, 山中麻衣, 沼田 聡	高齢者給食における喫食率向 上に関する研究—動物性たん ぱく質摂取に着目して—	高知県立大学 健康栄養学部 研究紀要	67, 1-8	2018
彼末富貴, 渡邊浩幸	魚食普及の推進を目的とした おさかな親子料理教室の活動 報告	高知県立大学 紀要健康栄養 学部編	67, 9-14	2018

## (2) 著書

著者	タイトル	ページ	出版社	発行年
Asao, T., Asaduzzaman, M., (編著) Tanaka, M., et al.	Amino Acid -New Insights and Roles in Plant and Animal, Chapter15: Anti-Allergic Effects of His-Ala- Gln Tripeptide and Constituent Amino Acids	15-29	INTECH	2017
編集: 海老原 清, 渡邊 浩幸, 竹内 弘幸	食べ物と健康, 食品と衛生 食品加 工・保蔵学		講談社	2017
小松美智, 小林正子, 丸 谷宣子, 赤松利恵, 高橋 孝子, 西岡道子他 笠原賀子編	栄養教諭のための学校栄養教育論 補訂	1-136	医歯薬出版	2018

## (3) その他、報告書等

氏名	タイトル	ページ	名称・機関・発行所	発行年
小林 淳	機器分析の現場から: 複数大学の化 学分析実習を担当して思うこと	4-5	SHUHARI	2018

氏名	タイトル	ページ	名称・機関・発行所	発行年
田中 守	International Conference on Food Science and Nutrition 2017 における研究発表を通して	71 巻, 1 号, pp. 41	日本栄養・食糧学会誌	2018
田中 守, 香西はな	小麦依存性運動誘発アナフィラキシーにおけるアレルゲン特性と運動の役割	67 巻, 1 号, pp. 56	体力科学	2018
編集：稲井玲子, 多賀昌樹	食育学研究 Vol.12 No.1 Jun. 2017	1-18	日本食育学術会議	2017
編集：稲井玲子, 多賀昌樹	生活リズムと食 Vol.1 2018 Feb.	1-61	日本食育学術会議	2018
沼田 聡	指導者のための健康栄養セミナー	16-17	栄養士佐はちきん (高知県栄養士会会報誌)	2017
廣内 智子	県立大・栄養士会合同訓練	18-19	栄養士佐はちきん	2018
沼田 聡, 片上秀喜, 井上忍, 澤田浩武, 橋田誠一	緩徐進行 1 型糖尿病の早期診断に向けての取り組み - 膵島関連自己抗体 (GAD 抗体、IA-2 抗体、インスリン自己抗体) に対する超高感度酵素免疫測定法の開発及びその応用 -	161	臨床化学 46 (2)	2017
荒牧礼子	若年期からの生活習慣病予防の取り組み～野菜摂取増加に向け家庭科教育の視点から～	15-20	高知県家庭科教育連合会 研究報告書	2017
小松利子, 松崎淳子, 彼末富貴	平成 30 年度版ファミリー日誌「柚子」	230-231, 261	全国農林統計協会連合会	2017
彼末富貴	うまいもんレシピ「豚肉」玉手箱 Vol.104	12	(社福) 高知県社会福祉協議会	2017
渡邊浩幸, 彼末富貴	佐川町加茂地区で続けられている味噌づくりの起源調査と地域の未市づくりを紹介した域学共生の実践	4 号 12-19	地域連携事業報告書	2017
荒牧礼子	保健福祉のあり方を考える啓発事業「食から始めよう認知症予防対策」(中土佐町)	4-8	平成 29 年度高知県立大学健康長寿センター活動報告書	2018
廣内 智子	生活習慣予防のための料理教室	71-76	平成 29 年度高知県立大学健康長寿センター活動報告書	2018
隅田有公子	「慢性腎臓病 (CKD) 患者さんのための食事療法手引き」改訂	77-78	平成 29 年度高知県立大学健康長寿センター活動報告書	2018

## 7. 国内外学会等への参加

### (1) 国際学会発表

発表者	題目	学会名	場所	開催日
S. Numata, M. Tanaka, I. Shimada	Learn from the Region, Grow up in the Region — Student Activities Through Rice with Local Government and Regional People—	International Conference on Food Science and Nutrition	Kotakinabalu, Malaysia	2017. 10. 25～26 (発表日 26)
Takeaki Okamoto, Kotone Matsumoto, Haruna Kumazawa, Momoko Kawarabayashi and Mamoru Tanaka	Anti-allergic effects of Shiikuwasha (Citrus depressa Hayata) in vitro and in vivo	International Conference on Food Science and Nutrition 2017	Kotakinabalu, Malaysia	2017. 10. 25-26. (発表日 26)

発表者	題目	学会名	場所	開催日
Keiko Watanabe, Mamoru Tanaka, Ikuko Shimada,	Development and implementing of a monitoring check sheet corresponding to changes in appetite among cancer patients	International Conference on Food Science and Nutrition 2017	Kotakinabalu, Malaysia	2017. 10. 25-26. (発表日 26)
Shimada I, Numata S, Tanaka M, Hirouchi T, Tokuhiko C, Watanabe and Okamoto, T.	Creation of Survival food recipes by Students in Practicum for a Dietitian Course at University	International Conference on Food Science and Nutrition 2017	Kotakinabalu, Malaysia	2017. 10. 25-26. (発表日 26)
Shimada I, Tanaka M, Hirouchi T, Wataanbe K, Tokuhiko C and Numata, S.	Studies on improving the amount of animal protein intake among the Elderly Application of A meat softener to chicken eggs	International Conference on Food Science and Nutrition 2017	Kotakinabalu, Malaysia	2017. 10. 25-26. (発表日 25)
Yuichiro Takei, Yukiko Sumida, Mamoru Tanaka	Auraptene, a citrus flavonoid attenuates the aneurysm formation by anti-osteoclastogenic function in Ca-PO4-induced mouse model	International Conference on Food Science and Nutrition 2017	Kotakinabalu, Malaysia	2017. 10. 25-26
C. Tokuhiko, I. Shimada and K. Kitamura.	Review of Methods for Evaluating Shokuiku or Dietary Education from the Perspective of School Lunch Officials.	International Conference on Food Science and Nutrition 2017	Kotakinabalu, Malaysia	2017. 10. 25 ~26
K. Watanabe, M. Tanaka , I. Shimada, K. Juman, K. Saga, K. Sakamoto, S. Morita, and M. Yamashita.	Characterization Analysis of Loss of Appetite among Cancer patients and Development of a Monitoring Check Sheet Corresponding to Changes in Appetite.	International Conference on Food Science and Nutrition 2017	Kotakinabalu, Malaysia	2017. 10. 25 ~26
T. Matsubara, I. Shimada.	Let's have fun at Nutrition Lecture Based on survey on nutrition and health of day care for Senior.	International Conference on Food Science and Nutrition 2017	Kotakinabalu, Malaysia	2017. 10. 25 ~26

(2) 国内学会発表

発表者	題目	学会名	場所	開催日
田中 守, 鈴木大進, 竹井悠一郎, 岡本威明, 渡邊浩幸	キク科 <i>Cirsium maritimum</i> Makino は IgE 依存性アレルギー反応を抑制する	第 71 回 日本栄養・食糧学会大会	沖縄	2017. 5. 19-21. (発表 20 日)
竹井悠一郎, 隅田有公子, 田中 守, 川村真美, 渡邊浩幸	柑橘類含有成分オーラプテンは血管における破骨細胞形成を阻害し, 動脈瘤形成を抑制させる	第 71 回 日本栄養・食糧学会大会	沖縄	2017. 5. 19-21. (発表 20 日)
田中 守, 川北浩久, 渡邊浩幸	海洋深層水の抗アレルギー効果	日本家政学会第 69 回大会	奈良	2017. 5. 26-28. (発表 27・28 日)
岡本威明, 松本琴音, 熊澤遥奈, 河原林桃子, 田中 守	生体内外におけるシークワサー一葉・果皮抽出物の抗アレルギー効果	日本家政学会第 69 回大会	奈良	2017. 5. 26-28. (発表 27・28 日)

発表者	題目	学会名	場所	開催日
徳広千恵, 島田郁子, 北村和子	食育の評価指標の検討ー学校給食関係者の地場産物活用に関する意識や行動に関する調査を基にー	第71回日本栄養・食糧学会大会	沖縄	2017.5.19～21
沼田聡, 島田郁子, 橋田誠一	オボアルブミンに対する新規の高感度酵素免疫測定法の開発	第71回日本栄養・食糧学会大会	沖縄	2017.5.19～21
稲井玲子, 檜垣俊介, 松尾達博	玄米麹菌発酵エキスのラット腸管におよぼす影響	第71回日本栄養・食糧学会大会	沖縄	2017.5.19～21
檜垣俊介, 稲井玲子, 松尾達博	玄米麹菌発酵エキスの成長期ラット腸管におよぼす影響	第71回日本栄養・食糧学会大会	沖縄	2017.5.19～21
長田梨沙, 上野美紀, 山本拓未, 小國鮎佳, 加藤由衣, 稲井玲子, 島田郁子	食を通じた子どもの居場所づくりを目指して☆子どもみらい塾☆すびかの活動	第12回日本食育学術会議	岡山	2017.6.25
田井友里絵, 小田菜摘, 窪川ひとみ, 清水滯里, 檜垣俊介, 稲井玲子	小学生における成績と生活状況に関する研究-I	日本食育学術会議第12回大会	岡山	2017.6.24～25
小田菜摘, 窪川ひとみ, 清水滯里, 田井友里絵, 檜垣俊介, 稲井玲子	小学生における成績と生活状況に関する研究-II	日本食育学術会議第12回大会	岡山	2017.6.24～25
夏原 咲, 重成真央, 檜垣俊介, 安藤宏幸, 稲井玲子	児童における生活習慣と成績の関連性 (I)	日本食育学術会議第12回大会	岡山	2017.6.24～25
檜垣俊介, 安藤宏幸, 林 浩文, 野田哲由, 森 博史, 稲井玲子	児童における生活習慣と成績の関連性 (II)	日本食育学術会議第12回大会	岡山	2017.6.24～25
井上健朗, 隅田有公子, 吉岡理枝, 小原弘子, 森下安子, 池田光徳	自治体「地域ケア会議」評価指標の作成の試み	第22回日本在宅ケア学会学術集会	北海道	2017.7.15-16
小原弘子, 森下安子, 井上健朗, 隅田有公子, 吉岡理枝, 池田光徳	自治体「地域ケア会議」運営ガイドラインの作成	第22回日本在宅ケア学会学術集会	北海道	2017.7.15-16
森下安子, 井上健朗, 小原弘子, 隅田有公子, 吉岡理枝, 池田光徳	自治体「地域ケア会議」評価指標の活用の検討, 第22回日本在宅ケア学会学術集会	第22回日本在宅ケア学会学術集会	北海道	2017.7.15-16
島田郁子, 沼田聡	満足度および健康維持に寄与できる弁当に向けてー高知県四万十町におけるニーズ調査ー	第64回日本栄養改善学会学術総会	徳島	2017.9.13～15
沼田聡, 島田郁子	地域に学び、地域で育つ～自治体と地域の方々との米を通じた課外活動～地域に学び、地域で育つ～自治体と地域の方々との米を通じた課外活動～	第64回日本栄養改善学会学術総会	徳島	2017.9.13～15
廣内智子, 島田郁子	東日本大震災の避難所生活における食料供給の実態調査ー東日本大震災の食事画像分析からー	第64回日本栄養改善学会学術総会	徳島	2017.9.13～15
小田菜摘, 窪川ひとみ, 清水滯里, 田井友里絵, 隅田有公子, 檜垣俊介, 稲井玲子	食育活動と成績・生活状況の関連性	第64回日本栄養改善学会学術総会	徳島	2017.9.13～15
檜垣俊介, 大原栄二, 稲井玲子	児童における生活習慣調査と成績の関連性	第64回日本栄養改善学会学術総会	徳島	2017.9.13～15
荒牧礼子, 野々村瑞穂	野菜料理に関する主観的な重量認識と摂取量について	第24回日本末病システム学会学術総会	横浜	2017.9.17～18



発表者	題目	学会名	場所	開催日
荒牧礼子, 國末直宏, 野々村瑞穂	勤労者における年齢層別食生活 変容に結びつく指導効果の検証	第24回日本末病シ ステム学会学術総会	横浜	2017. 9. 17~ 18
田中 守, 香西はな	シンポジウム「基礎と現場をつ なぐ子どもたちの食物アレルギー ー問題 ~運動誘発アナフィラ キシーの視点から~」シンポジ スト, 「小麦依存性運動誘発ア ナフィラキシーにおけるアレル ゲン特性と運動の役割」	第72回日本体力 医学会大会	愛媛	2017. 9. 16- 18 (発表 17日)
田中 守, 竹井悠一郎, 川村真美, 渡邊浩幸, 鈴木大進, 岡本威明	ハマアザミ葉の継続摂取は抗原 特異 IgA を増加させる	第64回日本家政 学会中国・四国大 会	岡山	2017. 9. 30- 10. 1 (発表 1日)
渡邊浩幸, 川村真美, 田中 守	マウスへの各種脂肪酸組成の高 脂肪食の投与が体脂肪及び血中 BDNF 濃度に及ぼす影響	第38回日本肥満 学会	大阪	2017. 10. 7-8 (発表8 日)
沼田 聡, 片上秀喜, 井上忍, 澤田浩武, 橋田誠一	インスリン自己抗体に対する高 感度酵素免疫測定法の開発	第50回日本栄養 食糧学会中四国支 部大会	鳥取	2017. 11. 11 ~12
田中 守, 鈴木大進, 竹井悠一郎, 川村真美, 渡邊浩幸	<i>In vitro</i> 及び <i>in vivo</i> における <i>Cirsium maritimum</i> Makino の抗 アレルギー効果	第50回日本栄 養・食糧学会中 国・四国支部大会	鳥取	2017. 11. 11- 12 (発表12 日)
竹井悠一郎, 田中 守, 隅田有公子, 川村真美, 渡邊浩幸	柑橘類含有成分オーラプテンに よる動脈瘤形成抑制効果の検討	第50回日本栄 養・食糧学会中 国・四国支部大会	鳥取	2017. 11. 11- 12 (発表12 日)
香西はな, 藤原美佳, 稲垣七重, 田中 守	食物アレルギー児に対する保育 所給食の対応ー誤食ゼロを目指 してー	第13回日本給食 経営管理学会学術 総会	北海 道	2017. 11. 25- 26 (発表 26日)
島田郁子, 山中麻衣, 岩 原甘奈, 杉本有澄, 竹中 美紀子, 田中希歩, 中曾 佳奈, 中町玲香, 沼田聡	手づくりキッチンにおける衛生 面・安全面での課題	第13回日本給食 経営管理学会学術 総会	北海 道	2017. 11. 25 ~26
Makiko Suzuki, Miyuki Yokoro, Azusa Nakagawa, Saki Shinooka, Ryoko Takeuchi, Hidenori Kiyosawa.	eIF3 p110 is a substrate for CARM1.	2017 年度生命科 学系学会合同年次 大会	神戸	2017. 12. 6~9
船野晃弘, 池田啓一, 川崎広明, 小林 淳, 東 康彦, 刀裨重信, 松本 孝, 山倉文幸	トリプトファン及び代謝産物の ペルオキシナイトライトによる 反応	第38回日本トリ プトファン研究会学術 集会	名古 屋	2017. 12. 9~10
田中 守, 渡邊浩幸	ハマアザミは抗原/IgE 依存性ア レルギー反応を抑制し、抗原特 異 IgA を増加させる	第11回高知大学 &高知工科大学& 高知県立大学医工 連携交流会	高知	2018. 2. 16 (発表16 日)
Ngatu, NR., Ikeda, M., Tanaka, M., Kanbara, S., Nojima, S.	Health effect of dietary supplementation with Sujiaonorin biomaterial	第11回高知大学 &高知工科大学& 高知県立大学医工 連携交流会	高知	2018. 2. 16 (発表16 日)
小林 淳, 池田啓一, 杉山英男	添加物質による食肉加工品等抽 出液中亜硝酸の安定性向上	日本薬学会第138 年会	金沢	2018. 3. 26~ 28
池田啓一, 菅原幸子, 堀川靖子, 小林 淳	特別講義における外部講師ー学 生間での質疑応答を活発にする ための工夫	日本薬学会第138 年会	金沢	2018. 3. 26~ 28

## 8. 講習会・公開講座

タイトル	講師	主催	開催日	場所	対象
包括連携・健康栄養学部 FD 研修会 「地域学実習Ⅰ・Ⅱについて」	田中守, 沼田聡, 島田郁子, 渡邊浩幸	高知県立大学	2017. 6. 17	高知県立大学	高知県立大学健康栄養学部・高知医療センター職員
日本食育学会 第13回大会 総括	稲井玲子	日本食育学会	2017. 6. 24 ～25	岡山理科大学	会員
高知県栄養士会 JDA-DAT (日本栄養士会災害支援 栄養士) スタッフ育成研修	沼田聡, 隅田有公子, 島田郁子, 廣内智子	高知県栄養士会	2017. 7. 21, 22, 2018. 1. 21	高知県立大学	高知県栄養士会 会員
栄養ワンダー2017 ー栄養 士・管理栄養士を目指す あなたへー	沼田 聡, 田中 守	高知県立大学・日本栄養士会	2017. 7. 30	高知県立大学	高校生、保護者
オープンキャンパス模擬 授業 食品学	渡邊浩幸	高知県立大学	2017. 7. 30	高知県立大学	高校生、保護者
オープンキャンパス模擬 授業 臨床栄養学	竹井悠一郎	高知県立大学	2017. 7. 30	高知県立大学	高校生、保護者
平成 29 年度栄養教諭免許 更新講習	稲井玲子, 鈴木麻希子, 竹井悠一郎, 島田郁子	高知県立大学	2017. 8. 1	高知県立大学	栄養教諭
平成 29 年度家庭科教員免許 状更新講習	鈴木麻希子, 竹井悠一郎, 川口順子, 宇野浩三	高知県立大学教員免許 状更新講習 実施部会	2017. 8. 1	高知県立大学 池キャンパス	中・高校家庭科 教諭
栄養成分表示研修	島田郁子	高知県産業 振興推進部	2017. 8. 18, 2018. 2. 9	高知県立大学	食品製造関係者
日本幼児体育学会 第13 回大会 シンポジスト	稲井玲子	日本幼児体育学会	2017. 8. 26 ～27	龍谷大学深草 キャンパス	会員
第64回日本栄養改善学会 学術総会 座長	稲井玲子	日本栄養改善 学会	2017. 9. 13～ 15	アスティとく しま	会員
HACCP 管理者 HACCP 講座	渡邊浩幸, 島田郁子, 沼田聡	高知県立大学	2017. 9. 28 ～29	高知県立大学	高知県立大学健康栄養学部学生
職業実践力育成プログラム・履修証明プログラム 多職種連携による保健福祉医療従事者の力量アップのための講座 ー高齢者ケア力の向上に向けてー 「生活習慣病の 治療と予防」	鈴木麻希子, 竹井悠一郎	高知県立大学多職種 連携による保健医療従事者の力量アップのための 講座実施 委員会	2017. 10. 15 , 21	高知県立大学 池キャンパス	高齢者ケアに携わる保健・医療・福祉従事者で資格(看護師, 保健師, 介護福祉士, 管理栄養士, 栄養士, ソーシャルワーカー等)を持っている者
日本機能性食品医用学会 第15回総会 座長	稲井玲子	日本機能性 食品医用学 会	2017. 12. 9 ～10	順天堂大学医 学部	会員
ー県民大学としてできる ことー	渡邊浩幸	高知県立大学(域学共 生連携拡大 会議)	2017. 12. 26	高知県立大学 永国寺研究教 育棟	限定
食品成分と抗アレルギー 性	田中 守	健康食品管理士会四国 支部高知県 部会	2018. 1. 21	高知学園短期 大学	会員、一般人
生活リズムと食のセミナー ー 総括	稲井玲子	日本食育学 術会議	2018. 2. 10	高知県立大学 池キャンパス	一般・会員

## 9. 地域・学外の活動

### (1) 講師活動

タイトル	氏名	主催	開催日	開催場所	対象者
中土佐町食生活推進協議会研修会「介護予防イキイキ食生活」	荒牧礼子	中土佐町食生活推進協議会	2017. 5. 12	中土佐町地域包括支援センター	須崎地区食生活改善推進員
四万十町立田野々小学校PTA講演会	稲井玲子	四万十町立田野々小学校PTA講演会	2017. 5. 26	四万十町立田野々小学校	四万十町立田野々小学校・生徒, 父兄, 教員
食育活動発表大会	稲井玲子	サニーマート	2017. 6. 22		社員
高知県栄養士会 JDA-DAT (日本栄養士会災害支援栄養士) スタッフ育成研修「災害時対応」講義・演習	島田郁子	高知県栄養士会	2017. 7. 21 ~22	高知県立大学	高知県栄養士会会員
高知県栄養士会 JDA-DAT スタッフ育成研修「要配慮者への栄養指導」	廣内智子	高知県栄養士会	2017. 7. 22 ~23	高知県立大学	高知県栄養士会会員
災害時の食支援について	廣内智子	高知県立山田養護学校	2017. 8. 22	山田養護学校	調理師, 栄養士
「災害時における食の対応」	島田郁子	南国市立香長中学校 南国市教育委員会 南国市立教育研究所	2017. 8. 23	南国市立香長中学校	南国市小中学校教諭等
「災害を食で乗り切る」	島田郁子	香美市社会福祉協議会 香北支所	2017. 8. 30	香美市社会福祉協議会 香北支所	地域住民
健康のつどい健康講座「あなたは大丈夫?食から始める認知障害対策」	荒牧礼子	大阪ガスグループ福祉財団	2017. 8. 30	奈良市立西部公民館	一般市民
生活習慣病予防講演会「食から始める生活習慣病予防対策」	荒牧礼子	日本触媒工業健康保険事業者	2017. 9. 1, 10. 16, 10. 25	日本触媒工業吹田研究所, 姫路製作所, 本社	従業員
家庭的保育の研修講義	鈴木麻希子	高知県教育委員会	2017. 9. 2	高知県立大学池キャンパス	家庭的保育者(認可外保育施設の他、保育所、幼稚園に勤務する者を含む)
土佐フードビジネスクリエーター人材創出事業	西岡道子	土佐フードビジネスクリエーター人材創出	2017. 9. 22	高知大学	一般
育児のポイントや食育等	廣内智子	株式会社サニーフーズ	2017. 9. 28	サニーフーズ本社	社員
土佐清水市介護予防講演会「食から始めよう認知症予防対策」	荒牧礼子	土佐清水市	2017. 9. 28	土佐清水市三崎市民センター	一般市民
高知県栄養士会生涯教育基本研修会「国民の健康の増進の総合的な推進」	荒牧礼子	高知県栄養士会	2017. 9. 30	高知県立大学	管理栄養士・栄養士

タイトル	氏名	主催	開催日	開催場所	対象者
高知県栄養士会生涯教育基本研修会「保健機能食品と栄養成分表示制度」	竹井悠一郎	高知県栄養士会	2017. 9. 30	高知県立大学	管理栄養士・栄養士
介護予防講演会「食欲の秋 食から始めよう認知症予防対策」	荒牧礼子	香美市社会福祉協議会	2017. 10. 17	香美市八王子プラザ	一般市民
保小中連携協議会 講師	稲井玲子	保小中連携協議会	2017. 11. 14	高知市浦戸小学校	保小中連携協議会・委員
第6回ものづくり総合技術展	渡邊浩幸, 彼末富貴, 川村真美	高知県	2017. 11. 16-18	高知県おばさんセンター	一般
ふるさとの台所料理教室「こぶずし、鯨の暮れの煮物他」	彼末富貴	「ふるさとの台所」復刻を熱望する会	2017. 12. 10	サニーマートキッチン+	一般
潮江東小学校5年「土佐の雑煮」の学習	松崎淳子, 彼末富貴	高知市立潮江東小学校	2017. 12. 11	高知市立潮江東小学校	高知市立潮江東小学校5年生
保小中連携協議会 講師	稲井玲子	保小中連携協議会	2017. 12. 12	高知市浦戸小学校	保小中連携協議会・委員
健康と栄養・肥満と食事について	廣内智子	香美市シルバー人材センター	2017. 12. 14	香美市地域福祉センター	一般
災害時の食の備えーパックスッキング教室ー	廣内智子	高知県栄養ケアステーション	2018. 1. 9	高知保健福祉センター	親子
ソーレまつり 2018 親子でご飯づくり～田舎ずしをつくってみよう!～	彼末富貴	男女共同参画ポレール	2018. 1. 27	こうち男女共同参画ソーレ	一般親子
伝統食を次世代につなぐために	彼末富貴	鳥取県日南町	2018. 2. 4	鳥取県日南町役場	日南町食育推進協議会
元気に歳を重ねるための正しい食生活	廣内智子	高知県教育委員会生涯学習課	2018. 2. 17	江ノロコミュニティセンター	一般市民
食から始める認知障害対策	荒牧礼子	神戸市灘区老人クラブ連合会	2018. 3. 12	神戸市灘区役所	一般市民

## (2) 高大連携・地域との共同事業

タイトル	氏名	主催	開催日	開催場所
大学訪問「健康栄養学部について」	荒牧礼子	高知春野高校	2017. 6. 13	高知県立大学
高知県中山間地域訪問看護師育成講座, 訪問看護スタートアップ研修「栄養アセスメントと食事の工夫」	廣内智子	高知県立大学看護学部	2017. 6. 14, 11. 22	高知県立大学
松山東高等学校 スーパーグローバルハイスクール事業 「海外の学校給食について」	島田郁子	松山東高等学校	2017. 6. 19	松山東高等学校
出前講座 「高知県立大学健康栄養学部について」	竹井悠一郎	土佐女子中学高等学校(高等部)	2017. 6. 21	土佐女子中学高等学校
出前授業 身体の栄養状態、栄養評価について知ってみよう	渡邊浩幸	高知小津高校	2017. 6. 22	高知小津高校

タイトル	氏名	主催	開催日	開催場所
高知県アルコール健康障害対策連絡協議会	稲井玲子	高知県アルコール健康障害対策連絡協議会	2017. 6. 25	県庁
平成 30 年度高知県公立学校教員採用候補者選考審査筆記試験審査問題の調査研究の結果報告・様式 1	稲井玲子	高知県教育委員会	2017. 7. 14	県庁
平成 30 年度高知県公立学校教員採用候補者選考審査筆記試験審査問題の調査研究の結果報告・様式 2	稲井玲子	高知県教育委員会	2017. 7. 21	県庁
職業実践力育成プログラム・履修証明プログラム 多職種連携による保健福祉医療従事者の力量アップのための講座 -高齢者ケア力の向上に向けて-	廣内智子	高知県立大学	2017. 8. 5 2018. 1. 8	高知県立大学
とさつ子健診	荒牧礼子	高知県立大学健康長寿センター	2017. 8. 20～ 21	土佐市保健センター
第 1 回 WG (伝統的食文化の継承)	彼末富貴	四万十町教育委員会 伝統食文化検討委員会	2017. 8. 23	十和地域振興局第 2 会議室
出前講座「巨大地震に備え今すべき食糧備蓄」	廣内智子	高知市立旭日小学校	2017. 9. 21	高知市立旭日小学校
健康長寿公開講座 体験セミナー in 中土佐町「食から始めよう認知症予防対策」	荒牧礼子	高知県立大学健康長寿センター	2017. 10. 12	中土佐町地域包括センター
健康長寿公開講座 体験セミナー「食から始めよう認知症予防対策」	荒牧礼子, 沼田 聡	高知県立大学健康長寿センター	2017. 10. 16	中土佐町地域包括支援センター
大学訪問「健康栄養学部について」	荒牧礼子	高知城山高校	2017. 10. 31	高知県立大学
健康長寿体験型セミナー「認知症になってもいい まちづくりとは」	荒牧礼子	高知県立大学健康長寿センター	2017. 11. 1	安田町保健センター
第 4 回 WG (伝統的食文化の継承)	彼末富貴	四万十町教育委員会 伝統食文化検討委員会	2017. 11. 9	四万十町本庁東庁舎
高知県アルコール健康障害対策連絡協議会	稲井玲子	高知県アルコール健康障害対策連絡協議会	2017. 11. 20	県庁
食育連携推進協議会	稲井玲子	食育連携推進協議会	2017. 11. 28	高知共済会館
若年期からの生活習慣病予防の取り組み～野菜摂取増加に向け家庭科教育の視点から	荒牧礼子	第 61 回高知県家庭科教育連合会研究大会	2017. 12. 2	高知大学
出前講座 「生活習慣と食事のつながりについて」	竹井悠一郎	愛媛県立八幡浜高校	2017. 12. 12	愛媛県立八幡浜高校
食べ物の魅力と食事バランスの大切さについて	田中 守	高知県立宿毛高等学校	2017. 12. 13.	高知県立宿毛高等学校
とさつ子健診	荒牧礼子	高知県立大学健康長寿センター	2017. 12. 16～ 17	土佐市保健センター
退院支援事業「管理栄養士の視点から」	廣内智子	高知県立大学健康長寿センター	2017. 12. 22	大井田病院

## 10. 国際交流活動

渡邊浩幸

2016年度から引き続き、国際交流センターのもとで、学部の国際交流活動を運営してきた。健康栄養学部からは、渡邊浩幸がセンター員として学部代表となり、活動を指揮した。なお、学部内には、国際交流ワーキンググループを置き（渡邊，村上，稲井，小林，荒牧，島田，竹井）、さらに活動の具体化を企画し、学部全教員で対応した。

### 1. 活動報告

#### 1) 池ディ

毎年、海外からの留学生の受け入れ期間中には、池キャンパスでの交流活動として池ディを設定して、池キャンパスの各学部での学生や教員との交流を深める機会としている。今年度は、イタリア、アメリカ、台湾、中国からの交換留学生が参加して開催された。|

#### ① イタリア ヴェネチアカ・フォスカリ大学（学生10名）

台湾 文藻外語大学（学生1名）

中国 北京聯合大学旅游学院（学生2名）

テーマ：i) 無形文化遺産和食について、ii) あなたの食事の内容を知ろう

開催日時：平成29年5月26日（金）16:00～17:00

開催場所：高知県立大学池キャンパス健康栄養学部棟1階試食室

#### ② アメリカ エルムズ大学（学生6名、引率教員1名）

テーマ：i) 無形文化遺産和食について、ii) 高知県立大学学生からの日本文化についての紹介

開催日時：平成29年6月5日（月）14:00～16:00

開催場所：高知県立大学池キャンパス健康栄養学部棟1階試食室

#### ③ 韓国 慶南科学技術大学校（学生10名、引率教員1名）、木浦大学校（学生7名）

テーマ：アレルギー食について学びましょう

開催日時：平成30年2月1日（木）8:50～12:00

開催場所：高知県立大学池キャンパス健康栄養学部棟1階調理学実習室（応用栄養学実習）

#### ④ インドネシア アンダラス大学（学生2名）

テーマ：環境測定について

開催日時：10月31日（火）14:40-16:55

開催場所：高知県立大学池キャンパス健康栄養学部棟4階多目的室（環境衛生学実習）

#### 2) サバ大学学生受け入れ

2017年度は、サバ大学からの学生の派遣がなかった。2018年には、是非とも学生を派遣していただけるようにアピールした。特に、さくら寮の完成と施設を国際交流での利用が可能となることについて、サバ大学に写真を送付して説明した。

(写真は、池デイ 環境衛生学実習での様子)



### 3) サバ大学学生短期派遣

毎年、マレーシア国立サバ大学への短期留学生を派遣しているが、今年度は、1回生6名、2回生6名、男女合計12名の派遣を行った。派遣人数を増やした理由として、サバ大学短期派遣の場合、交通費や必要経費が少なくすむことから、1回生からの派遣を勧め、2回生までに2回の派遣を経験して、英語力の必要性や海外での学習の意義を理解してもらえるように考えた。

教授会にて希望する学生の報告を行い、事前指導と派遣後の報告を義務として派遣を許可した。なお、今年度は、学生の宿泊をサバ大学ゲストハウスに変更して行った。

日付	活動内容
3/2	高知→羽田→成田 (ホテル泊)
3/3	成田→クアラルンプール→コタキナバル→大学ゲストハウス
3/4	生活用品準備
3/5	学部長挨拶 学内ツアー ・Eco Campus 見学 ・図書館見学 ・水族館見学 ・医学部 Anatomy Gallery 見学 ・健康薬学部見学
3/6	・食品機能学講義 ・製パン、製菓技術講義
3/7	・チョコレート工場見学 (Simply Chocolate SdnBhd) ・食品工場見学 (Lorong Mutahan (Jalan Penampang)) ・牛乳工場見学 (Sabah International Dairy)
3/8	・調理学講義 (Western & Eastern Cookery's Lecture ) ・ハラール食品規格講義 (Halal Food Production's Lecture)
3/9	Visit to Honey Farm in Kudat
3/10-11	Visit to Kundasang and Ranau
3/12	・新規食品開発講義 (Novel Food Processing's Lecture) 分子食品学講義 (Molecular Food's Lecture)
3/13	県立大学生によるプレゼン 高知県・高知県立大学紹介 学んだこと 文化や言語
3/14	食品産業連携学講義 (Food Innovation's Lecture)
3/15	市内観光
3/16	国際交流パーティー
3/17	帰国準備 コタキナバル→クアラルンプール→成田→羽田→高知

#### 4) イタリア ヴェネチアカ・フォスカリ大学学生短期派遣

全学的な派遣プログラムとして、イタリア ヴェネチアカ・フォスカリ大学への学生の短期派遣を実施している。健康栄養学部からは、1回生の女子学生1名と2回生の男子学生が参加した。

派遣期間：2017年9月11日～21日

#### 5) 韓国 木浦大学校

全学的な派遣プログラムとして、今年度から、韓国 木浦大学校への学生の短期派遣を実施した。健康栄養学部からは、1回生の女子学生1名が参加した。

派遣期間：2017年12月17日～24日

## 2. 研究交流

2017年10月25～10月26日の2日間、マレーシア・サバ州のザ パシフィック ステラホテルで国際会議「International Conference on Food Science and Nutrition」が開催された。この国際会議は、本学が4年前から国際交流協定を結んでいるマレーシア国立サバ大学が主催となり、健康栄養学部からは4名の教員が参加して、口頭発表及びポスター発表を行った。



## 3. 学生の留学意識調査

政府だけでなく、各分野で活躍されている方々や民間企業からの御支援などにより、官民協働で「グローバル人材育成コミュニティ」を形成し、将来世界で活躍できるグローバル人材をオールジャパンで育成する取組として、文部科学省がグローバル人材育成施策の一環として行う留学促進キャンペーンの名称を「トビタテ！留学 JAPAN」とし、2020年までに大学生・高校生の海外留学者数を倍増することを目標に掲げた。そこで、本学でも、トビタテ！留学 JAPAN を通した留学制度の利用を進めることとした。健康栄養学部の1回生と2回生に対して、留学希望者を調査し、2回生の1名が留学を意識していることを明確にした。

## 4. 来年度に向けて

さくら寮の運営が始まり、海外からの学生や教員との積極的な交流が可能となった。来年度は、学部における研究交流を目的として、海外からの研究者の招聘等を検討したい。



## 11. 国家試験対策委員会

廣内智子, 隅田有公子

### I. 主な活動内容

3 回生及び 4 回生を対象に全国統一模擬試験を本学を会場として 7 回実施した。3 回生では苦手分野の把握を目的に、4 回生では合格点 120 点以上を目標に実施した。模擬試験終了後には、成績が伸び悩む学生を対象に個別面談を複数回実施し、今後の勉強方法についてアドバイスをを行った。外部講師による国家試験対策講座をキャリア支援部等の協力を得て学外にも公開し 1 回実施。その他、外部講師による国家試験対策講座を年 3 回（無料 1 回、有料 2 回）実施した。学生は積極的に講座に参加し、苦手分野の解き方や勉強方法を身に付け、苦手科目の克服を目指した。また、4 回生を対象に苦手科目や強化したい科目などのアンケート調査を 10 月に実施し、結果をもとに学部教員による国家試験対策講座を 1 月に実施した。各科目担当教員が基礎的内容から国家試験問題の解説まで徹底指導に取り組んだ。その他、国家試験受験願書記入説明会等を開催し、合格までのサポートを行った。

### II. 国家試験対策（平成 29 年度年間活動内容一覧）

実施日	内容	3 回生	4 回生	合計
6 月 3 日（土）	全国統一模擬試験 （第 1 回 RDC 管理栄養士センター）	42	39	81
6 月 17 日（土）	RDC 特別講演会（無料） 講師：細川雅和先生（RDC センター）	36	40	76
7 月 1 日（土）	全国統一模擬試験 （第 1 回日本医歯薬研修協会）	0	40	40
9 月 2 日（土）	国家試験対策講座（キャリアセミナー） 講師：渡邊先生（日本医歯薬研修協会）	41	32	73
9 月 23 日（土）	全国統一模擬試験 （第 2 回日本医歯薬研修協会）	0	40	40
9 月 30 日（土）	RDC 秋期基礎対策講座（有料） 講師：細川雅和先生（RDC センター）	10	27	37
10 月 2 日（土）	全国統一模擬試験 （第 2 回 RDC 管理栄養士センター）	42	41	83
11 月 25 日（土）	全国統一模擬試験 （第 3 回日本医歯薬研修協会）	0	41	41
1 月 6 日（土）	全国統一模擬試験 （第 3 回 RDC 管理栄養士センター）	42	41	83
2 月 3 日（土）	全国統一模擬試験 （第 4 回日本医歯薬研修協会）	0	41	41
2 月 10 日（土）	RDC 超直前対策講座（有料） 講師：細川雅和先生（RDC センター）	7	23	30

### Ⅲ. 第 32 回管理栄養士国家試験

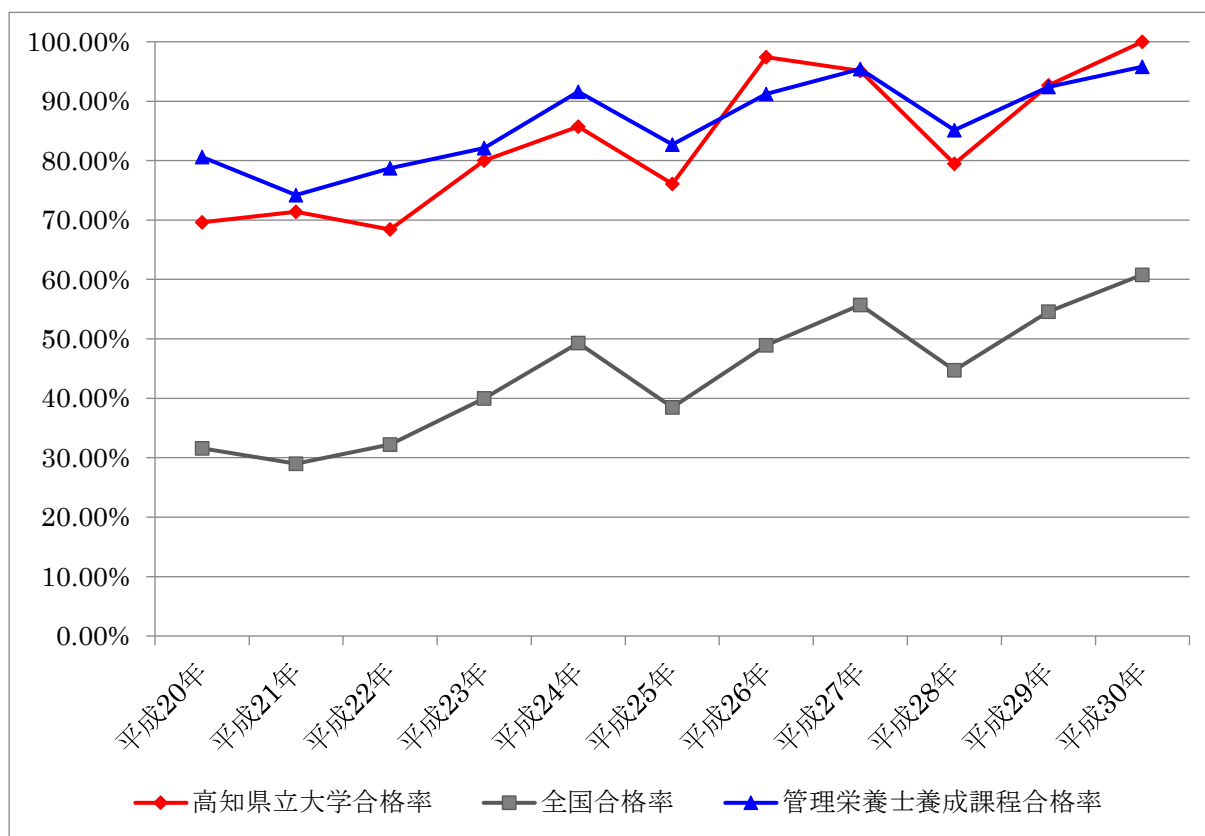
実施日 : 平成 30 年 3 月 4 日 (日)

合格発表 : 平成 30 年 3 月 30 日 (金)

受験者数 : 41 名

合格者数 : 41 名 合格率 : 100%

年次	高知県立大学合格率	全国合格率	管理栄養士養成課程(新卒)合格率
平成 20 年	69.60%	31.6%	80.6%
平成 21 年	71.40%	29.0%	74.2%
平成 22 年	68.40%	32.2%	78.7%
平成 23 年	80.00%	40.0%	82.1%
平成 24 年	85.70%	49.3%	91.6%
平成 25 年	76.10%	38.5%	82.7%
平成 26 年	97.40%	48.9%	91.2%
平成 27 年	95.10%	55.7%	95.4%
平成 28 年	79.49%	44.7%	85.1%
平成 29 年	92.68%	54.6%	92.4%
平成 30 年	100.00%	60.8%	95.8%



## 12. 学部就職支援

川村真美, 渡邊浩幸

### 1. 活動内容

#### 1) 全学的取り組み

本学では、池・永国寺両キャンパスのキャリアセンターに就職相談員が配置され、教員と共に就職に関する指導と支援をしている。キャリアセンター(愛称: ワクワク Work!!)の相談員は、学年を問わず、就職に関する様々な質問や相談に応じている。就職活動に関する個別相談、企業への提出書類のチェックや模擬面接の実施等、安心してより効果的に就職活動に取り組めるよう、一人ひとりの学生への徹底した指導・サポートを行っている。また、知りたい情報がいつでも自由に閲覧できるよう、病院、施設、企業関連の資料や公務員の募集要項、就職関連図書などを豊富に揃えている。ほぼ全員の卒業生が残した詳細な就職活動の記録である就職活動体験報告書があり、採用試験の内容や、勉強方法などのアドバイスが記載されており、後輩学生の参考になっている。またワクワク Work!!主催の就職必勝・実践 WIN 講座や SPI 模擬試験など就職活動活性化のためのガイダンスやセミナーなどが、H29 年度は 86 回実施された。専門職種も一般企業での活躍の場が増えており、平成 29 年度も企業説明会から最終選考までの選考過程を実践的に体験できる就職ガイダンス「ザ・プレ就活」を実施した。ワクワク Work!!は、本学学生の採用を希望する企業からの大学への訪問希望の対応などをし、学生からのニーズが多い場合には学内説明会を実施した。また、ワクワク Work!!職員を対象とした研修が平成 29 年度も引き続き実施された。

昨年度に引き続き、ハローワーク高知の“大卒就職ジョブサポーター”1名が週1回水曜日に、池キャンパスのキャリアセンターに来て、学生の個別相談を受け、模擬面接を実施する体制をとっており、就職活動の支援が強化された。また、大卒ジョブサポーターによって高知県のみでなく全国の採用情報が効率的に多く提供されるようになり、就職活動の活性化に繋がっている。平成 27 年度より、インターネットによる求人閲覧システムを導入しており、ワクワク Work!!に足を運ばないときでも大学に届いた求人情報をチェックできるようになっている。

ワクワク Work!!職員と 3・4 回生学年担当教員は、年度初めに担当学年学生の就活についての情報や学生の希望や適性・近況などについて情報交換の話しを持ち、情報の共有に努めた。

#### 2) 学部の取り組み

平成 20(2008)年度より学部独自に 2 名の就職担当教員を配置し、就職支援に取り組んでいる。就職担当教員は、学部主催の就職セミナーを企画・立案・実施した。各学生の卒業研究指導教員は、個別に相談を受け、指導し激励して支援している。学部就職担当教員は、卒業研究指導教員や学年担当教員などと連携して、教員間で蜜に連絡を取り、求人情報の提供を行い、学生の就職活動の活性化を促している。学部教員は、申し出のあった学生の提出書類の添削・指導を行い、支援を行っている。また、就職担当教員は、ワクワク Work!!主催の就職ガイダンスやセミナーへの積極的な参加を促した。学生の希望する職種に就職した卒業生を紹介し、就職先や受験勉強対策について直接相談する橋渡しの役目も行った。

本学部学生は、ワクワク Work!!主催の就職ガイダンスのうち 30 講座に延べ 293 名が参加した。以下にワクワク Work!!が主催した就職支援企画への本学部学生の参加実績を示す。

H29年度 就職ガイダンス 健康栄養学部参加状況

月日	キャンパス	タイトル	対象	健康栄養	全学合計
					H29年度
17/4/5	池	オリエンテーション	3回生	36	142
17/4/6			4回生	42	152
17/4/13	永国寺	公務員試験対策講座 説明会	1~4回生	16	60
17/5/16	池	公務員面接対策セミナー	1~4回生	3	17
17/5/22	池	面接・小論文対策ガイダンス(看・社・健)	4回生	10	52
17/5/24	永国寺	愛媛県教育委員会	4回生	2	3
17/6/12	池	ハローワーク出張登録会	4回生	6	9
17/6/19	池	(株)高南メディカル 個別説明&座談会	4回生	7	7
17/6/27	永国寺	エゴグラムを活用した自己分析セミナー	2~4回生	5	17
	池			7	12
17/7/10	池	就職活動スタートアップ講座(健栄・社福)	3回生	16	31
17/7/24	池	SPI 性格検査(自己分析)受検会	3回生	0	10
17/10/16	池	専門職志望向け業界研究講座(健栄・社福)	3回生	14	40
17/10/30	池	リクルートファッション&メイク講習会	2~4回生	11	17
17/11/25	永国寺	ザ・プレ就活	3回生	9	17
17/12/2				9	15
17/12/11	池	エントリーシート(履歴書)の書き方講座	3回生	20	38
18/1/15	池	SPI 模擬試験(マークシート版)	3回生	2	3
18/1/27	永国寺	業界研究セミナー県内企業	3回生	2	18
18/1/28	永国寺	3大学合同就職セミナー2019	3回生	2	17
18/1/29	池	自己PR作成講座	3回生	20	27
18/2/5	永国寺	合同企業説明会の回り方	3回生	8	38
18/2/10	永国寺	公務員業務セミナー	全学年	2	28
18/2/11	高知市内	公務員試験模擬試験	全学年	3	11
18/2/23	永国寺	金融機関志望者向け面接対策	3回生	1	2
18/2/27	池	履歴書ガイダンス	3回生	7	93
18/3/3	池	教員採用試験公開模試	1~3回生	6	10
18/3/14	永国寺	高知県農業協同組合(JA 高知)個別説明会	3回生	1	6
18/3/16	池	高知県教員採用試験説明会	2・3回生	5	16
18/3/17	池	就職必勝・実践 WIN 講座	3回生	21	26
18/3/18				20	25

## 【学部主催就職セミナー】

健康栄養学部では、学部主催の就職セミナーを平成20年度より開催しており、平成29年度も2回開催した。学部学生を対象として、社会で活躍中の卒業生5名を講師に招いて10月に、就職が内定した4回生5名を講師に1月に実施した。毎回各講師から全体に体験談を話してもらったのち、職種ごとに教室に分かれ、在学生からの質問に答えてもらう小グループでの個別質問タイムを設けて、学生が聞きたいことを質問しやすいようなプログラムで実施することを心掛けた。2回とも2・3回生は90%~100%と参加率は非常に高かった。参加感想アンケート結果をみると、就職活動の活性化になり就活への不安を軽減するだけでなく、講師の話から自分のやりたい職種絞を絞るきっかけになり、日々の授業の重要性の認識や管理栄養士国家試験勉強を始める動機付けになり、よい効果を得ていることが窺えた。下記にその詳細を示す。

### ●平成29年度第1回健康栄養学部就職セミナー ～卒業生を迎えて～

2017年10月9日(祝)9:00~12:30

講師：健康栄養学部卒業生5名

平成28年度卒

上岡 菜由さん (医療法人健康会 介護老人保健施設アイリス  
管理栄養士)

谷本 佳史さん (地方独立行政法人 静岡市立静岡病院 管理栄養士)

平成24年度卒

池内 美保子さん (社会医療法人近森会 近森病院 管理栄養士)

里富 美桜さん (高知県香南市立赤岡小学校 赤岡・吉川学校給  
食センター 栄養教諭)

甲藤 亜紗実さん (高知食糧株式会社 管理部管理課)



全体質問タイム



職種別質問タイム

講師の卒業生が、仕事の内容や就活での経験や管理栄養士国家試験の勉強法などを発表し、それぞれの職種について学生の理解が深められるように企画した。

参加数：1回生36名(地域学実習のため3名欠席、90%)、2回生41名(100%)、3回生38名(90%)、教職員5名、ワクワク職員1名、卒業生3名、参加総数124名。2・3回生の参加率は非常に高く、質問も活発にあった。

参加の感想として、1回生(非常に良かった49%、良かった49%)、2回生(非常に良かった53%、良かった40%)、3回生(非常に良かった49%、良かった37%)であり、「非常に良かった」と「良かった」の割合が非常に高いと言えた。

参加した学生は、「3回生のうちに国試の勉強をしっかりとっておかなければならないなと感じた」、「平成28年度卒業生の方から教えていただいた試験勉強や就活の流れがとても参考になった」、「5人とも就活や国試の勉強などの取りかかりが早く、余裕をもって取り組まれていて、自分の学生生活を見直すきっかけになった」、「就職セミナーはいつもとても刺激を受けています。また開催してほしい」、「自分たちの仕事に誇りを持っていることから刺激をもらった」、「まだ就活について本格的には考えていなかったの、それぞれの職種の内容などについて聞いて、考えるきっかけになった(1回生)」、「先輩方の貴重なお話が聞いてとても有意義な時間でした(1回生)」、「このセミナーを聞いて

て自分の行きたい道がはっきりとした(1回生)」、「1回生から進路について考えることができるセミナーはとても役立った(1回生)」、「1回生でも、就職活動のことや国家試験勉強のことを早く意識できるから、すごく良かった(1回生)」との感想が寄せられた。

学生にとって、就職・仕事・日々の勉強について真剣に考える貴重な機会になったと思われる。

## ●平成 29 年度第 2 回健康栄養学部就職セミナー ～健栄 教えて！

### 先輩～

2018 年 1 月 22 日(月)16:30～19:00

講師：4 回生就職内定者 6 名

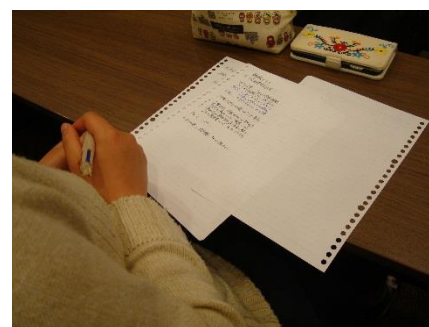
旭形 ひなのさん (日本調剤薬局 管理栄養士)

岩原 甘奈さん (高知県 栄養教諭)

川松 花奈子さん (香川県 行政管理栄養士)

清水 幹生さん (聖隷浜松病院 管理栄養士)

竹馬 明美さん (特別養護老人ホームふるさと 管理栄養士)



熱心にメモをとる学生

内定を勝ち取った 4 回生 5 人が、就活の流れや対策、その職種を選んだ理由、管理栄養士国家試験対策の勉強法などを発表した。

参加数：1 回生 29 名(73%)、2 回生 40 名(93%)、3 回生 42 名(100%)、4 回生 5 名、教員 2 名、ワクワク work!!職員 3 名、参加総数 121 名。高い出席率であった。

参加の感想として、1 回生(非常に良かった 76.9%、良かった 23.1%)、2 回生(非常に良かった 75.7%、良かった 21.6%)、3 回生(非常に良かった 48.7%、良かった 35.9%)で、「非常に良かった」および「良かった」の割合が極めて高かった。

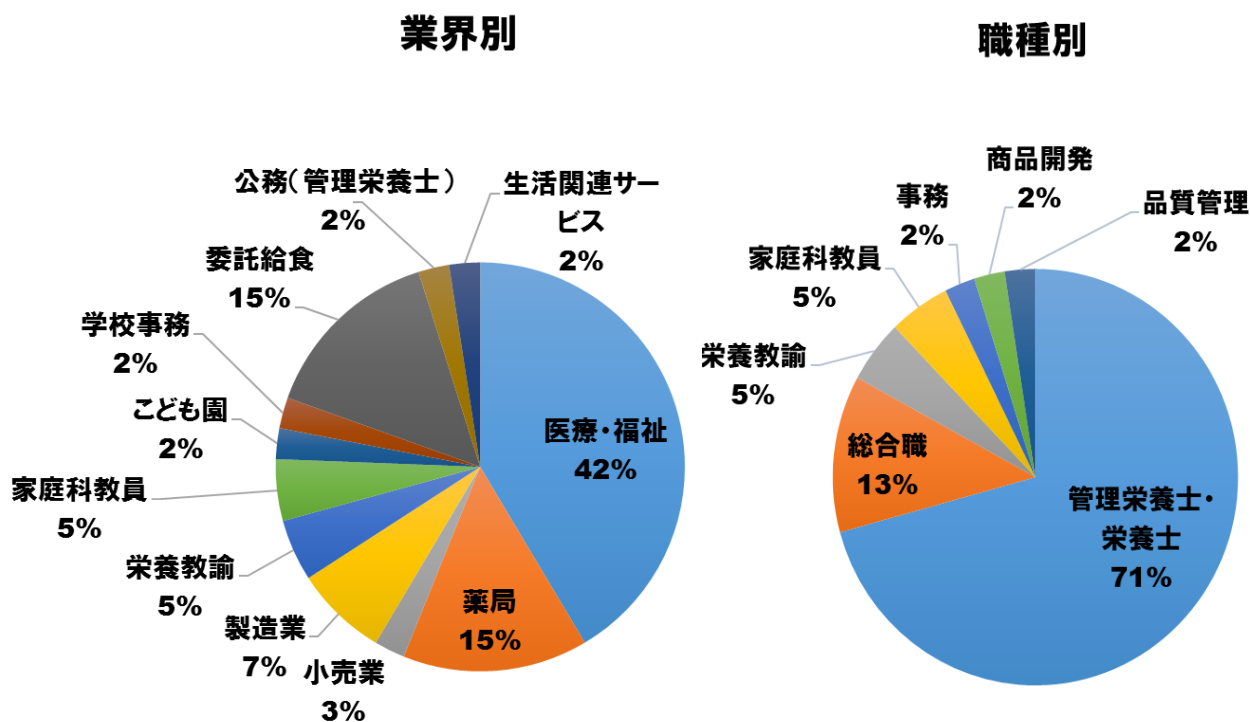
学生からの感想は、「今回は自分が 3 回生になったからかもしれないけれど、講師全員の方がとても分かりやすく話をしてくださって、とてもためになった」、「どの方の発表も刺激になった。国試対策やスケジュール管理について、特に参考にしたいと思った」、「5 名の方それぞれが自分に合った方法で勉強や就活をされていて、とても参考になった。これから頑張ろうという気持ちになった」、「就活に対する意識が高まったと思う」、「全員の方から刺激をもらい、早めに勉強を始めようと思った」、「勉強のモチベーションが上がった」、「すごく役に立つので、今後もぜひ行ってください(1 回生)」、「皆さんの話を聞いてみて、面接ではたくさんの方が言える人が強くて、大学生のうちたくさんの方の話を経験しておきたいと感じた(1 回生)」、「リアルな現状やアドバイスなど、本当にためになった(1 回生)」、「自分から電話して募集がないか聞いていた。自分から動くことはすごく大切だと感じた(1 回生)」、「日ごろ勉強していることをコツコツ積み重ねていけるといいと感じた(1 回生)」などが寄せられた。

## 2. 成果

平成 29 年度の卒業生は 41 名で、全員が就職希望で就職内定率は 100%であった。ワクワク Work!!職員・ジョブサポーター・学部就職担当教員・卒業研究担当教員・学年担当教員・学部キャリア支援部会員の連携した支援・個別指導が学生のやる気を引き出し、内定を取ることに繋がったと考えられる。管理栄養士の資格を活かさない就職先を希望する学生もおり、そのような学生には資格を活かした職業

に就くことの良さを伝えるようにした。また、卒業生は一般企業から管理栄養士職に転職する場合がある実情から、将来意識が変わる可能性も大いにあることを話し、管理栄養士職への就職を考えるように勧めることを心掛けた。今年家庭科教員として2名が採用された。学部独自の就職セミナーを開催し9年目を迎え、参加率が毎年非常に高く、参加学生の感想を見ると、就職活動の活性化、内定の獲得に効果を上げていると感じる。就職セミナーでの発表の中で、講師の卒業生がよく話すワクワク Work!!の就職ガイダンスに積極的に参加したほうがよいということが浸透してきたのか、平成29年度も3回生は積極的に就職ガイダンスやセミナーに参加し、参加率が高く、4回生での就活本番に向けての準備がより早くできていると思われた。また、4回生はワクワク Work!!に相談に行く回数も多く、学部就職担当教員・卒業研究担当教員・その他の学部教員にも相談に行き、それぞれがインターネットで調査し、真面目に積極的に就活に取り組んでいた。

下記に、内定先の業界別および職種別内訳を示す。



### 3. 平成30年度の課題

卒業後の就職は、学部の大きな役割の一つである。健康栄養学部就職支援担当教員は、キャリアセンター(ワクワク Work!!)と密に連絡を取り協力して、平成29年度卒業生も就職内定率100%を達成した。キャリアセンター職員は、学生一人ひとりの性格に合ったきめ細かい就職支援をし、模擬面接などを行うなど手厚くサポートしており、就職内定率100%になったのもキャリアセンター職員のサポートによるところが大きい。キャリアセンターのもつ役割は大きく、本学部学生も篤い信頼を寄せている。

今後も健康栄養学部としてキャリアセンターと連携を図り、学部就職担当教員・卒業研究指導教員・学年担当教員およびキャリア支援委員の協力体制をより充実させ、学生一人ひとりの個性に合った個別指導をしていくことが重要と考える。また、学生に就職に対する動機づけとなり刺激を与えている学部主催の就職セミナーを継続することは意義あることと考える。

### 13. インターンシップ

渡邊浩幸

学生に就業体験の機会を提供し、職業の選択の理由として考えてもらえるように、実際に企業や県庁関連組織に赴かせ、一定期間、職場体験を受けさせている。一般的には、3回生で実施するが、学部のカリキュラムの特徴から、本学ではとくべつの理由がない限り、2回生に勧めている。本年度は、2回生18名（県内企業9名、県外企業1名、県庁関連組織8名）、3回生3名（県内企業3名）がインターンシップに参加した。

来年度は、インターンシップ先として、県外企業の職場開拓を進めていきたい。

### 14. ファカルティ・デベロップメント（FD）活動

廣内智子

#### 教員の授業向上・教育力向上等のための健康栄養学部 FD 活動

開催日時：平成29年6月26日（月）17:30～18:30

場所：高知県立大学 本部・健康栄養学部棟3階 A320

テーマ：地域学実習Ⅰ及び地域学実習Ⅱの活動報告

参加人数：教員14名

1. 「地域学実習Ⅰ」津野町での活動報告： 発表者：田中 守 先生
2. 「地域学実習Ⅰ」中土佐町での活動報告： 発表者：沼田 聡 先生
3. 「地域学実習Ⅱ」香南市での活動報告： 発表者：島田 郁子 先生
4. 「地域学実習Ⅱ」佐川町の活動報告： 発表者：渡邊 浩幸 先生

#### 概要

高知県立大学が掲げる「域学共生」という理念は、地「域」と大「学」が「共」に「生」きていくための協働関係を築き、「大学が地域を変え、地域が大学を変える」という考え方です。地域と大学が互いに手を携え、教え合い、学び合い、育ち合いながら、高知県の地域の再生と活性化を実現したいという想いが込められています。このような理念のもと、高知県立大学は平成25年から地域の課題解決に主体的に取り組む学生を支援する「立志社中」をスタートさせ、平成27年からは「地域学概論」「地域学実習Ⅰ」「地域学実習Ⅱ」を新設・必修化し、キャンパスと現地で学んだ広い視野を基盤に、専門の知識や技術を身につけることによって、地域のことをよく理解し、チームを組んで地域課題の解決に取り組むことのできる人材の育成を目指しています。

今回の研修会では、各科目担当教員より高知県の地域課題、地域活性化の取り組みなど、これまでの長期に渡る活動成果と今後の課題についてご報告して頂きました。

活動成果としては、地域ごとの課題やニーズを学ぶことが出来る、コミュニケーション能力の向上などがあげられました。今後の課題として、事前・事後学習の日程調整の難しさ、非積極的な学生への対応、提出書類の管理、大学及び教員としてどこまで学生を支援すべきかなど、活発な意見交換があり、貴重な情報交換の場となりました。



## 15. 高知医療センター・高知県立大学包括的連携協議会 健康栄養連携部会事業

廣内智子, 竹井悠一郎, 隅田有公子

### 生活習慣病予防のための料理教室

開催日時：平成 29 年（2017 年）6 月 24 日（土）10：00～13：00

開催場所：高知県立大学 本部・健康栄養学部棟 1 階 調理学実習室

対 象：生活習慣病を予防・改善をしたい方とそのご家族

参加者数：16 名（男性 2 名，女性 14 名）

献 立：平成 24 年度作成「生活習慣病予防のためのレシピブック」を一部改訂した献立

スタッフ：高知県立大学健康栄養学部教 4 名（村上学部長、竹井、廣内、隅田）

高知医療センター栄養局職員 3 名（佐賀、小谷、田部井）

健康栄養学部 3 回生 5 名（池内、近森、澄田、永田、土井）

#### 1. 事業概要

高知医療センター・高知県立大学包括的連携協議会健康栄養連携部会が、毎年、食事療養におけるセルフケア支援を目的とした料理教室を開催しており、今年で 6 回目の開催となります。今年、6 月 24 日（土）に高知県立大学池キャンパス、本部・健康栄養学部棟 1 階の調理学実習室にて、平成 24 年度に作成した「生活習慣病予防のためのレシピブック」を一部改訂した献立を使用し、生活習慣病予防のための料理教室を開催しました。定員 30 名で募集し、19 名のお申し込みを頂きました。当日の参加者は 16 名（男性 2 名，女性 14 名）でした。スタッフとして、高知医療センター栄養局職員 3 名，健康栄養学部教員 3 名，健康栄養学部 3 回生 5 名が参加しました。

#### 2. 活動成果

医療センターの管理栄養士が生活習慣病予防のための食事療法について講義を行い、食事療法の重要性について理解を深めて頂きました。次に、実際に調理する献立の調理のポイントを具体的に紹介しました。

魚メニュー：かつおの梅しそはさみ焼き，キャベツの中華和え，茄子の鶏そぼろあんかけ

肉メニュー：豚肉のくるくる巻きおろし添え，ピーマンのきんぴら炒め，トマトと豆腐のサラダ

ご参加頂いた 16 名の方々に、班ごとに分かれて頂き、参加者 3 名に対してスタッフ 1～2 名がサポートとして入りました。調理実習中も参加者が疑問に感じる事があればスタッフの管理栄養士や学生に調理しながら質問・相談できる体制を取り、調理しながら学ぶことができる料理教室を実施しました。参加者の中には、ご夫婦で協力しあい調理を行う姿も見られました。また、栄養指導の一貫でもある料理教室に興味を持たれた高知医療センターの医師（糖尿病・内分泌内科医）や、管理栄養士の職業に憧れて安芸市から参加された県内高校生なども、熱心に調理を行う姿も見られました。試食会では各グループに分かれ参加者の方と試食しながら、ご家庭の味と比較して頂き、質問やご相談をお受けしました。お帰り際には、減塩の調味料等のサンプルをお持ち帰り頂きました。

### 3. 活動評価

参加者からは、「計量することで調味料を余分に使用することもなく、おいしい料理が出来ることを実感しました。」「たくさんのお野菜を使って料理することの大事さを痛感しました。」「定期的に料理教室を開催して頂きたい」などのご感想を頂きました。アンケートでは、全員（100%の方）から生活習慣病予防のための料理教室が「参考になった」とご解答頂きました。



講義



調理実習



魚料理



肉料理



試食



感想

## 16. 災害プロジェクト委員会

廣内智子, 隅田有公子

### 高知医療センター・高知県立大学合同災害訓練

開催日時：平成 29 年（2017 年）11 月 5 日（日）8：45～12：15

開催場所：高知県立大学 体育館内及び体育館前駐輪所付近

対象者：高知医療センター職員，大学教職員・学生・地域住民などのエキストラ 800 名程度

参加者：健康栄養学部教員 13 名（本部：1 名，炊き出し：9 名，JDA-DAT：3 名）

健康栄養学部学生 76 名（1 回生傷病者役：23 名，2 回生炊き出し 23 名，  
3 回生避難者 27 名，4 回生 JDA-DAT 役 3 名）

高知県栄養士会 17 名（健康栄養学部の教員 3 名を含む）

高知医療センターとの連携

○高知医療センターから高知県立大学へ

カロリーメイト（1 箱 2 本入り）：300 箱

保存用ミレービスケット 200 g/缶（卵・バター・牛乳不使用）：5 缶

○高知県立大学から高知医療センターへ

水（500mL×24 本/箱）：4 箱

### 1. 事業概要

高知医療センターが基幹災害拠点病院としての機能を果たせるように、医療センターに来院した軽症者と避難者を高知県立大学が避難所となり受け入れ訓練を毎年行っている。健康栄養学部では、食料対応チームとして避難所での円滑な食事提供の運営及び避難者の栄養状態の把握をスムーズに実施できるよう、合同訓練を通して最善の方法を検討している。

平成 29 年度の災害訓練では、毎年実施している炊き出し訓練に加え、新たな取り組みとして高知県栄養士会と連携し、要配慮者へ巡回栄養・食生活相談を実施した。具体的には、大規模な災害が発生した時に迅速に被災地での栄養・食生活支援活動を担うための特別な訓練を受けた日本栄養士会災害支援チーム（JDA-DAT：Japan Dietetic Association -Disaster Assistance Team）のリーダーに登録している者及びスタッフ研修を受けた高知県内の管理栄養士・栄養士が、避難所となる高知県立大学の体育館内において、高知県栄養士会の災害支援マニュアルにある「栄養・食生活相談票」を活用し、要配慮者へ巡回栄養・食事相談を行い、必要に応じて特殊栄養食品を提供する等の訓練を実施した。訓練終了後、2 種類のアンケートを実施した。1 つ目は、合同訓練参加者全員を対象に、食料対応チームの炊き出しに関するアンケートを実施した。2 つ目は、事前に栄養に関する問題を仕込んだ避難者役に巡回栄養・食事相談を実施した際の JDA-DAT スタッフの接し方や態度に関するアンケートを実施した。

訓練内容

炊き出し：飲料水，α 米おにぎり（1 人 3 種），豚汁，カロリーメイトを訓練参加者全員に提供。

ミレービスケットは、子供及び食物アレルギーがある方を対象に提供。

巡回栄養アセスメント：

災害時に想定される様々な栄養に関する問題を抱えた避難者役を対象に、避難所において高知県栄養士会との連携を図り、巡回栄養アセスメントを実施。

## 2. 活動成果



豚汁の準備



おにぎりの準備



炊き出しの提供



JDA - DAT による栄養アセスメント



JDA - DAT による栄養アセスメント



JDA - DAT による栄養アセスメント

## 3. 活動評価

訓練終了後の反省会では、支援スタッフから「栄養・食生活相談票の記入がしづらかった」や「避難者とのコミュニケーションの難しさを実感した」等の感想を聞くことが出来た。また訓練終了後、要配慮者に対して行ったアンケートでは、支援スタッフとの会話で「無理しないで下さいね、の声掛けが嬉しかった」などのコメントが見られた。その一方で、支援スタッフの接し方で気になったこととして「栄養アセスメントの説明や同意がなく、いきなり質問された」「体調を気にかける言葉がなかった」などのコメントも見られた。

今後も、実際の緊急時に備え、高知医療センター栄養局と高知県栄養士会と連携し、災害訓練を通して、避難所で生じる健康問題を予防・改善するための栄養・食生活支援の体制を整備し、支援技術を向上させるように努める。

17. 委員会一覧

委員会名		担当者	委員会名		担当者
教育研究審議会		村上尚	健康長寿センター運営委員会		荒牧礼子, 沼田聡
部局長会議		村上尚	とさっ子健診プロジェクト		荒牧礼子
自己点検・評価運営委員会		村上尚	地域ケア会議推進プロジェクト		隅田有公子
			退院支援事業		廣内智子
研究活動不整防止委員会		村上尚	訪問看護育成講座		廣内智子
			学生委員会		島田郁子
地域教育研究センター (AERU)			健康管理センター運営委員会		稲井玲子
地域教育研究センター 一部会長会議		渡邊浩幸 (産官学研 究部会長)	総合情報センター運営委員会		竹井悠一郎
			図書部会		竹井悠一郎
共通教育部会		竹井悠一郎	情報処理部会		竹井悠一郎
生涯学習部会		渡邊浩幸	人権委員会		稲井玲子
キャリア支援部会		島田郁子	FD委員会		廣内智子
産官学研究部会		渡邊浩幸	紀要編集委員会		廣内智子
地域課題研究部会		渡邊浩幸	多職種連携実施委員		鈴木麻希子
教務委員会		西岡道子	男女共同参画推進プロジェクト		廣内智子
教職課程専門委員会		稲井玲子(栄養) 鈴木麻希子(家庭)	災害対策プロジェクト委員		廣内智子, 隅田有公子
			国際交流センター運営委員会		渡邊浩幸
自己点検・評価運営委員会		村上尚	1回生		竹井悠一郎, 隅田有公子
			2回生		渡邊浩幸, 川村真美
大学案内・オープンキャンパス専門委員会		村上尚	3回生		島田郁子, 沼田聡
			4回生		鈴木麻希子, 田中守
学部	学部運営会議		村上尚, 稲井玲子, 小林淳, 渡邊浩幸		
	学部教務委員会		村上尚, 西岡道子, 稲井玲子, 鈴木麻希子, 竹井悠一郎		
	研究倫理審査専門委員会		荒牧礼子, 西岡道子 (前期), 小林淳 (後期), 鈴木麻希子		
	自己点検・評価委員会		村上尚, 渡邊浩幸		
	動物実験審査委員		渡邊浩幸, 村上尚		
	国家試験対策委員会		廣内智子, 隅田有公子		
	国際交流ワーキング		渡邊浩幸, 村上尚, 稲井玲子, 小林淳, 荒牧礼子, 島田郁子, 竹井悠一郎		
	就職支援		渡邊浩幸, 川村真美		
	学部報編集委員		荒牧礼子, 彼末富貴	広報	彼末富貴
	医療センター包括連携委員		廣内智子	CKD料理教室	廣内智子, 竹井悠一郎, 隅田有公子
臨地実習委員会		荒牧礼子, 島田郁子, 竹井悠一郎, 廣内智子, 沼田聡, 隅田有公子			

18. 入学試験状況の概要(2018年度)

( )内:男子

区分	募集 人員 A (名)	志願者数B(名)		受験者数C(名)		合格者数 D(名)		入学者数 (名)		志願 倍率 (%)	合格 倍率 (%)	
		全体	県内	全体	県内	全体	県内	全体	県内	B/A	C/D	
推 薦	一般 県内	10	20 (2)	20 (2)	20 (2)	20 (2)	10 (1)	10 (1)	10 (1)	10 (1)	2.0	2.0
	一般 全国	5	30 (2)	0	30 (2)	0	5 (1)	0	5 (1)	0	6.0	6.0
	合計	15	50 (4)	20 (2)	50 (4)	20 (2)	15 (2)	10 (1)	15 (2)	10 (1)	3.3	3.3
個 別	前期	25	44 (2)	9	44 (2)	9	29	4	29	4	1.8	1.5
社会人	若干 名	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	
私費外国 人留学生	若干 名	1 (1)			1 (1)		1		1		—	1.0
合計	40	96 (7)	29 (2)	95 (6)	29 (2)	45 (2)	14 (1)	45 (2)	14 (1)	2.4	2.1	

19. 進学説明会・本学訪問・365日オープンキャンパス・出前授業状況

	進学説明会への 参加回数	本学訪問学校数	365日オープンキャンパス 来校生徒数	出前授業
県内	9回	6校	3人	7校
県外	3回	2校	12人	2校
合計	12回	8校	15人	9校

## Ⅱ. 学生の記録

1. 学生の都道府県別出身高校数
2. 教育における学外施設の利用状況
3. 資格所得状況の概要
4. 国家試験の合格者状況（新卒者）
5. 就職状況の概要
6. インターンシップの実施状況
7. 学生の海外研修等
8. 卒業研究題目一覧
9. 学生の受賞
10. 学生の課外活動・イベントで特徴的な事項の一覧





## 1. 学生の都道府県別出身高校数

(単位：名)

	1回生	2回生	3回生	4回生	合計
北海道					
青森県					
岩手県					
宮城県					
秋田県					
山形県					
福島県					
茨城県					
栃木県	1				1
群馬県					
埼玉県					
千葉県					
東京都				1	1
神奈川県					
新潟県					
富山県		1		1	2
石川県				1	1
福井県		1			1
山梨県					
長野県					
岐阜県					
静岡県	1				1
愛知県	2	4	1	4	11
三重県	1		1		2
滋賀県					
京都府				1	1
大阪府	1	2	3		6
兵庫県	2	6	1	4	13
奈良県	1				1
和歌山県	1	1	2	2	6
鳥取県			4		4
島根県	2		1		3
岡山県		1	1	2	4
広島県	1	2	2	2	7
山口県		1			1
徳島県	4		3	3	10
香川県	3		5	2	10
愛媛県	1	3	3	2	9
高知県	11	15	14	15	55
福岡県					
佐賀県					
長崎県		1		1	2
熊本県	1				1
大分県	2				2
宮崎県	1	1			2
鹿児島県	1		1		2
沖縄県	2	1			3
中華人民共和 国	1	1			2
合計	40	41	42	41	164

## 2. 教育における学外施設の利用状況

実習名	実習先	実習期間	実習生 (名)
地域公衆栄養学 臨地実習	須崎福祉保健所	2017. 9. 4～9. 8	6
	高知市保健所	2017. 9. 4～9. 8	8
	中央東福祉保健所	2017. 9. 4～9. 8	8
	中央西福祉保健所	2017. 9. 4～9. 8	8
	幡多福祉保健所	2017. 9. 4～9. 8	4
	安芸福祉保健所	2017. 9. 4～9. 8	8
給食経営管理臨地実習	高知医療センター	2017. 9. 11～9. 21 (9. 13～9. 18 除く)	21
		2017. 9. 25～9. 29	21
臨床栄養学臨地実習 I・II	高知医療センター	2018. 2. 14, 2. 15～3. 2 (2. 22～2. 25 除く)	21
		2018. 2. 14, 3. 5～3. 16 (3. 10～3. 11 除く)	21
地域実践栄養学 臨地実習	潮江双葉園(保育園)	2017. 5. 29～6. 2	1
	とさの里(介護施設)	2017. 6. 5～6. 9	3
	高知大学医学部付属病院	2017. 5. 22～5. 26	6
	近森病院	2017. 5. 15～5. 19	2
		2017. 5. 29～6. 2	2
	陸上自衛隊高知駐屯地	2017. 6. 5～6. 9	1
教育実習(栄養教諭)	南国市立後免野田小学校	2017. 5. 15～6. 26	1
	いの町給食センター	2017. 5. 15～6. 26	1
教育実習(家庭科)	京都市立京都御池中学校	2017. 5. 22～6. 9	1
	愛媛県立西条高等学校	2017. 5. 29～6. 16	1
	印南町立稲原中学校	2017. 6. 5～6. 23	1
	土佐塾中学校	2017. 9. 4～9. 22	1

### 3. 資格取得状況の概要

(単位：名)

管理栄養士国家試験受験資格	栄養士免許証	教員免許	
		栄養教諭一種	家庭 中学校教諭一種・高等学校教諭一種
41	41	2	4

### 4. 国家試験の合格者状況（新卒者）

受験年度	2017年度	2016年度	2015年度	2014年度
国家試験回数	第32回	第31回	第30回	第29回
受験者数（名）	41	41	39	41
合格者数（名）	41	38	31	39
合格率	100%	92.7%	79.5%	95.1%

### 5. 就職状況の概要

		人数	
管理栄養士・栄養士	病院	13	
	委託	6	
	福祉施設	4	
	薬局	6	
	公務員	1	
	幼稚・保育園・こども園	1	
	教員	栄養教諭	2
		その他	1
教員	家庭科	2	
	食品製造	3	
	学校事務	1	
	小売業	1	
	卒業生数	41	

### 6. インターンシップの実施状況

(単位：名)

1回生	2回生	3回生	4回生
0	18	3	0

### 7. 学生の海外研修等

協定校	国名	交流日	交換人数
ヴェネチアカ・フォスカリ大学	イタリア	2017.9.11～9.21	2回生1名, 1回生1名 (他学部2名)
木浦大学校	韓国	2017.12.17～24	1回生1名(他学部4名)
サバ大学	マレーシア	2018.3.3～3.18	2回生6名, 1回生6名

## 8. 卒業研究題目一覧

( ) : 氏名, 研究室名

1. ゴーヤの揚げ及びチップスにおける葉酸含量 (公文愛 調理学)
2. 加熱調理によるゴーヤの葉酸含量の比較 (衣川愛 調理学)
3. 調理方法の違いによる鯖の塩焼きのビタミン B<sub>12</sub> について (大川美以子 調理学)
4. まあじのフライ及びフライ風調理のビタミン B<sub>12</sub> について (上田萌々香 調理学)
5. あじのホイル焼きにおけるビタミン B<sub>12</sub> (入江真汀 調理学)
6. 生姜とショ糖の加熱がカステラの硬さに及ぼす影響 (後藤未来 食品科学)
7. セルロースナノファイバーの食物繊維としての効果 (山本加奈子 食品科学)
8. 食用カンナの水抽出画分投与がマウスの脂質代謝に及ぼす影響 (大倉望 食品科学)
9. カンナデンプン及び難消化性デキストリンの免疫促進効果 (廣瀬真由子 食品科学)
10. カンナデンプンの抗アレルギー効果 (栗栖愛 食品科学)
11. カンナデンプンの食物アレルギー抑制効果のメカニズムの解析  
(谷脇楓佳・松本初音 臨床栄養学)
12. 骨代謝に関連する脂溶性ビタミンが齶蝕菌にもたらす影響  
(清水幹生・新谷麻理 臨床栄養学)
13. 柑橘類含有成分オーラプテンによる動脈瘤抑制効果の機序の解明  
(夏目果奈・廣田栞 臨床栄養学)
14. ニラジェクト X~ニラ日本一の香南市の認知度 UP に向けて~  
(中曾佳奈・中町玲香 給食経営管理)
15. 弁当ニーズ調査から見えたこと~魚メニューの開発~ (杉本有澄・田中希歩 給食経営管理)
16. 手づくりキッチンにおける衛生面での課題 (岩原甘奈・竹中美紀子 給食経営管理)
17. 教職課程の履修効果および家庭科の教職実践演習におけるポートフォリオの効果  
(木村柚月 栄養学)
18. 加工食品中の無機リン、全リンの定量 (妹尾美希・平田夕実 栄養学)
19. 卵白アレルギー L-PGDS の超高感度測定法の開発 -L-PGDS の複合体解析-  
(竹馬明美 栄養学)
20. 翻訳開始因子 eIF3 p110 は CARM1 によってアルギニンメチル化される (武内涼子 栄養学)
21. 小学生における朝食摂取と生活習慣の関連性 (小田菜摘・窪川ひとみ・清水濤里 栄養教育論)
22. 小学生における朝食摂取等の生活習慣および成績の関連性 (田井友里絵 栄養教育論)
23. おにぎりでの菌の繁殖について (旭形ひなの 病態学)
24. 酢の細菌増殖抑制効果について (海部香帆 病態学)
25. レモン、しょうが、わさびの抗菌効果について (三木 あかり 病態学)
26. 歯ブラシに付着する細菌量について (又川真夕 病態学)
27. サバの凍結・解凍処理の有無によるヒスタミン生成量の違い (成瀬由佳 病態学)
28. 大学生のキャンパス間別食選択行動実態 (佐ノ木麻衣・澤田彩音 公衆栄養学)
29. 大学生のミールカード利用者・非利用者の食選択行動実態  
(大原成美・田坂雛乃 公衆栄養学)
30. 高校生の食意識に基づく食選択について (川松花奈子 公衆栄養学)

## 9. 学生の受賞

表彰名	学年	氏名	功績・賞の概要
学長賞 2018. 1. 15	4回生	小児糖尿病サ マーキャンプ スタッフ 衣川愛, 竹中美紀子, 廣田栞	公益社団法人日本糖尿病協会が主催する小児糖尿病サマーキャンプに2回生から参加し、3回生では初めて調理実習の企画から運営を中心にを行い、4回生では勉強会や3回生の企画・運営のサポートを積極的に行った。このように主体的な活動を行い、小児糖尿病サマーキャンプの運営に貢献した。
	4回生	夏目果奈	1回生時からボランティア活動を精力的に行い、3回生時には高知県学生献血クロス倶楽部リーダーとして倶楽部の活動をまとめ上げた。また、中国四国学生献血推進協議会代表委員会副委員長、全国学生献血推進実行委員会副委員長として、献血の普及、啓発活動に貢献した。
	4回生	COME☆RISH 旭形ひなの, 小田菜摘, 衣川愛, 澤田彩音, 武内涼子	第2期 COME☆RISH メンバーとして、活動のマニュアル化を行い、活動を組織化し、大野見エコロジーファーマーズ、中土佐町との連携体制を作り上げた。また、さらなるレシピ集の企画、作成、子どもたちへの食育教室運営等を通じて大野見エコ米を熱心にPRし、地域に貢献した。
(社) 全国栄養士養成施設協会 会長 2018. 3. 20	4回生	成瀬由佳	栄養士課程および管理栄養士養成課程を優秀な成績で卒業する学生を対象に、社団法人全国栄養士養成施設協会が表彰した。

## 10. 学生の課外活動・イベントで特徴的な事項の一覧

実施日	活動・イベント名	担当教員	活動・イベントの概要
2017. 6. ~ 2018. 3	学生プロジェクト立志社中 「それいけ！大野見エコ米 ～No Rice No Life～」	島田郁子, 隅田有公子, 田中守, 沼田聡	地域との交流や地元企業との共同 弁当開発等を通じて中土佐町大野 見地区の地域活性化を目指す。
2017. 04-11	ローソン健康弁当開発 「ココカラキレイ御膳」	田中守, 沼田聡, 島田郁子, 彼末富貴, 川村真美, 渡邊浩幸	学生活動管理、調理指導、マーケ ティング指導
2017. 12. 1	香南市ニラ試食会	島田郁子, 沼田聡	サニーマート御座店において、香 南市のニラのPR（生産量全国一 位等）を、考案した料理の提供に より行った。



### Ⅲ. 教員の教育・研究・地域貢献活動

1. 村上 尚
2. 稲井 玲子
3. 小林 淳
4. 渡邊 浩幸
5. 荒牧 礼子
6. 鈴木 麻希子
7. 西岡 道子
8. 島田 郁子
9. 竹井 悠一郎
10. 廣内 智子
11. 隅田 有公子
12. 田中 守
13. 沼田 聡
14. 彼末 富貴
15. 川村 真美





# 学部長 教授 村上 尚 (MURAKAMI Takashi)

## I. 教育活動

### 【学部】

- ・人体の構造と機能 I
- ・人体の構造と機能 II
- ・疾病論 I
- ・疾病論 II
- ・臨床医科学
- ・食品衛生学 (オムニバス)
- ・食品衛生学実験 (オムニバス)
- ・生体科学実験・実習
- ・管理栄養士総合演習 II (オムニバス)
- ・卒業研究
- ・管理栄養士国家試験対策講座

## III. 委員会活動

1. 健康栄養学部長
2. 公立大学協会生活科学・環境学系部会副部長
3. 高知県立大学教育研究審議会委員
4. 高知県立大学部局長会議構成員
5. 高知県立大学動物実験委員会委員長
6. 高知県立大学研究倫理委員会委員
7. 高知県立大学入学試験委員会委員
8. 高知県立大学自己点検・評価運営委員会委員
9. 高知県立大学学術研究戦略委員会委員
10. 高大接続改革を軸とする大学改革プロジェクト委員会委員
11. 高知医療センター・高知県立大学包括的連携協議会委員
12. 高知医療センター・高知県立大学包括的連携協議会健康栄養連携部会部長
13. 高知医療センター・高知県立大学包括的連携協議会健康長寿・地域医療連携部会構成員
14. 高知県立大学健康栄養学研究倫理審査委員会委員
15. 運営委員 (学部)
16. 教務委員会委員 (学部)
17. 国際交流ワーキング委員 (学部)

## IV. 社会的活動

### 【社会貢献活動】

1. 日本肥満学会本部評議員
2. 日本糖尿病学会会員
3. 日本生化学会会員
4. 日本分子生物学会会員
5. 高知県衛生研究所研究協議会委員

## I. 教育活動

### 【学部】

- ・ 栄養教育論 I
- ・ 栄養教育論 II
- ・ 栄養教育論 III
- ・ 栄養教育論実習 I
- ・ 栄養教育論実習 II
- ・ 学校栄養指導論 I
- ・ 学校栄養指導論 II
- ・ 教育実践演習 (栄養)
- ・ 学校栄養教諭教育実習
- ・ 卒業論文
- ・ 栄養教諭教育実習

## II. 研究活動

### 【学会発表】

1. 稲井玲子, 檜垣俊介, 松尾達博. 玄米麹菌発酵エキスのラット腸管におよぼす影響, 第71回日本栄養・食糧学大会, 沖縄 (2017. 5. 19~21)
2. 檜垣俊介, 稲井玲子, 松尾達博. 玄米麹菌発酵エキスの成長期ラット腸管におよぼす影響, 第71回日本栄養・食糧学大会, 沖縄 (2017. 5. 19~21)
3. 田井友里絵, 小田菜摘, 窪川ひとみ, 清水滯里, 檜垣俊介, 稲井玲子. 小学生における成績と生活状況に関する研究-I, 日本食育学術会議第12回大会, 岡山 (2017. 6. 24~25)
4. 小田菜摘, 窪川ひとみ, 清水滯里, 田井友里絵, 檜垣俊介, 稲井玲子. 小学生における成績と生活状況に関する研究-II, 日本食育学術会議第12回大会, 岡山 (2017. 6. 24~25)
5. 夏原咲, 重成真央, 檜垣俊介, 安藤宏幸, 稲井玲子. 児童における生活習慣と成績の関連性 (I), 日本食育学術会議第12回大会, 岡山 (2017. 6. 24~25)
6. 檜垣俊介, 安藤宏幸, 林浩文, 野田哲由, 森博史, 稲井玲子. 児童における生活習慣と成績の関連性 (II), 日本食育学術会議第12回大会, 岡山 (2017. 6. 24~25)
7. 小田菜摘, 窪川ひとみ, 清水滯里, 田井友里絵, 隅田有公子, 檜垣俊介, 稲井玲子. 食育活動と成績・生活状況の関連性, 第64回日本栄養改善学会学術総会, 徳島 (2017. 9. 13~15)
8. 檜垣俊介, 大原栄二, 稲井玲子. 児童における生活習慣調査と成績の関連性, 第64回日本栄養改善学会学術総会, 徳島 (2017. 9. 13~15)

### 【その他】

1. 稲井玲子, 多賀昌樹 (2017) 食育学研究 Vol.12 No.1 Jun. 2017 p1-18 日本食育学術会議
2. 稲井玲子, 多賀昌樹 (2017) 生活リズムと食 Vol.1 2018 Feb. p1-61 日本食育学術会議

## III. 委員会活動

1. 教職課程専門委員会 (栄養)
2. 健康管理センター運営委員会
3. 人権委員会
4. 学部運営委員会
5. 学部教務委員会
6. 国際交流 WG
7. 教員免許更新 WG

## IV. 社会的活動

### 【社会貢献活動】

1. 日本食育学術会議・理事長
2. 日本栄養食糧学会・中四国・参与
3. 日本機能性食品医用学会・評議員
4. 平成 29 年度高知県公立学校教員採用候補者選考審査筆記審査問題・委員
5. 高知県食育推進委員

### 【講演・講習会】

1. 日本食育学術会議第 13 回大会総括 日本食育学術会議 2017. 6. 24～25 岡山理科大学
2. 日本幼児体育学会第 13 回大会 シンポジスト 日本幼児体育学会 2017. 8. 26～27 龍谷大学深草 キャンパス
3. 第 64 回日本栄養改善学会学術総会 座長 日本栄養改善学会 2017. 9. 13～15 アスティとくしま
4. 日本機能性食品医用学会第 15 回総会 座長 日本機能性食品医用学会 2017. 12. 9～10 順天堂大学医学部
5. 生活リズムと食のセミナー 総括 日本食育学術会議 2017. 2. 10 高知県立大学池キャンパス
6. 四万十町立田野々小学校 PTA 講演会 講師 四万十町立田野々小学校 PTA 講演会 2017. 5. 26 四万十町立田野々小学校
7. 食育活動発表大会 講師 サニーマート 2017. 6. 22
8. 保小中連携協議会 講師 保小中連携協議会 2017. 11. 14, 12. 12 高知市浦戸小学校

### 【その他】

1. 平成 30 年度高知県公立学校教員採用候補者選考審査筆記審査問題の調査研究の結果報告・様式 1 高知県教育委員会 2017 年 7 月 14 日 高知県庁
2. 平成 30 年度高知県公立学校教員採用候補者選考審査筆記審査問題の調査研究の結果報告・様式 2 高知県教育委員会 2017 年 7 月 21 日 高知県庁
3. 高知県アルコール健康障害対策連絡協議会 高知県アルコール健康障害対策連絡協議会 2017 年 6 月 25 日, 11 月 20 日 高知県庁
4. 食育連携推進協議会 食育連携推進協議会 2017 年 11 月 28 日 高知共済会館

## I. 教育活動

### 【学部】

- ・ 生化学Ⅱ
- ・ 環境衛生学実習
- ・ 管理栄養士総合演習Ⅱ (オムニバス)
- ・ 公衆衛生学
- ・ 地域健康論
- ・ 卒業研究

### 【非常勤】

- ・ 電気通信大学 共通教養教育 基礎科学実験 B (化学実験)

## II. 研究活動

### 【論文】

1. 池田啓一, 菅原幸子, 堀川靖子, 小林 淳 (2017) 知識醸成段階での特別講義 —特別講師-学生間での質疑応答を活発にするための工夫—. 北陸大学紀要 **42**, 1-8.

### 【学会発表】

1. 池田啓一, 菅原幸子, 堀川靖子, 小林 淳. 特別講義における外部講師—学生間での質疑応答を活発にするための工夫, 日本薬学会第 138 年会, 石川 (2018. 3. 28)
2. 小林 淳, 池田啓一, 杉山英男. 添加物質による食肉加工品等抽出液中亜硝酸の安定性向上, 日本薬学会第 138 年会, 石川 (2018. 3. 27)
3. 船野晃弘, 池田啓一, 川崎広明, 小林 淳, 東 康彦, 刀祢重信, 松本 孝, 山倉文幸. トリプトファン及び代謝産物のペルオキシナイトライトによる反応, 第 38 回日本トリプトファン研究会 学術集会, 愛知 (2017. 12. 9)

### 【その他】

1. 小林 淳 (2018) 機器分析の現場から: 複数大学の化学分析実習を担当して思うこと. SHUHARI **39**, 4-5.

## III. 委員会活動

1. 健康栄養学部研究倫理専門審査委員会委員

## IV. 社会的活動

特になし

## V. 研究助成

### 【学外】

1. 高知銀行: 2017 年度「高銀地域経済振興財団助成金」20 万円

## I. 教育活動

### 【学部】

- ・食品学
- ・食品学実験Ⅱ
- ・食品衛生学実験（オムニバス）
- ・食材学
- ・管理栄養士総合演習Ⅱ
- 地域学概論（オムニバス）
- ・食品学実験Ⅰ
- ・食品衛生学（オムニバス）
- ・食品の栄養素と機能
- ・健康栄養学基礎（オムニバス）
- ・卒業研究

### 【大学院・人間生活学研究科（修士課程）】

- ・食品科学論Ⅰ
- ・食物科学論
- ・食品科学論Ⅱ
- ・食物科学実践演習

### 【大学院・健康生活科学研究科（博士後期課程）】

- ・食品機能学

### 【非常勤】

- ・RKC 調理師学校

## II. 研究活動

### 【著書】

1. 食べ物と健康, 食品と衛生 食品加工・保蔵学, 編集: 海老原 清, 渡邊 浩幸, 竹内 弘幸講談社, 東京.

### 【論文】

1. Ngatu, NR., Ikeda, M., Watanabe, H., Tanaka, M., Inoue, M (2017) Laxative Effects of Dietary Supplementation with Sujiaonori Algal Biomaterial in Japanese Adult Women with Functional Constipation: A Case Study, *J. Funct. Biomater.*, 8(2), 15; <https://doi.org/10.3390/jfb8020015>.
2. 田中 守, 鈴木大進, 竹井悠一郎, 川村真美, 渡邊浩幸 マウスの抗体産生能に及ぼすハマアザミ酢酸エチル抽出物の影響(2017) 日本未病システム学会雑誌, 23(2), 23-29.
3. Tanaka, M., Suzuki, M., Takei, Y., Okamoto, T., Watanabe, H. (2017) *Cirsium maritimum* Makino Inhibits the Antigen/IgE-mediated Allergic Response In Vitro and In Vivo, *J. Agric. Food Chem.*, 65 (38), 8386-8391
4. Nlandu Roger Ngatu, Mitsunori Ikeda, Hiroyuki Watanabe, Mamoru Tanaka, Masataka Inoue, Sakiko Kanbara and Sayumi Nojima. (2017) Uncovering Adiponectin Replenishing Property of Sujiaonori Algal Biomaterial in Humans., *Mar. Drugs*, pii: E32. doi: 10.3390/md15020032.
5. 彼末富貴、渡邊浩幸, 魚食普及の推進を目的としたおさかな親子料理教室の活動報告(2017) 高知県立大学紀要

#### 【学会発表】

1. Mamoru Tanaka, Masanobu Suzuki, Yuichiro Takei, Takeaki Okamoto and Hiroyuki Watanabe, Anti-allergic effects of *Cirsium maritimum* Makino in vitro and in vivo, International Conference on Food Science and Nutrition 2017, Sabah, Malaysia(2017.10.25-26)
2. Yuichiro Takei, Yukiko Sumida, Mamoru Tanaka, Mamo Kawamura and Hiroyuki Watanabe, Auraptene, a citrus flavonoid attenuates the aneurysm formation by anti-osteoclastogenic function in Ca-P04-induced mouse model, International Conference on Food Science and Nutrition 2017, Sabah, Malaysia(2017.10.25-26)
3. 田中 守, 鈴木大進, 竹井悠一郎, 岡本威明, 渡邊浩幸, キク科 *Cirsium maritimum* Makino は IgE 依存性アレルギー反応を抑制する, 第 71 回 日本栄養・食糧学会大会, 沖縄 (2017. 5. 19-21)
4. 竹井悠一郎, 隅田有公子, 田中 守, 川村真美, 渡邊浩幸, 柑橘類含有成分オーラプテンは血管における破骨細胞形成を阻害し, 動脈瘤形成を抑制させる, 第 71 回 日本栄養・食糧学会大会, 沖縄 (2017. 5. 19-21)
5. 田中 守, 川北浩久, 渡邊浩幸, 海洋深層水の抗アレルギー効果, 日本家政学会第 69 回大会, 奈良 (2017. 5. 26-28)
6. 田中 守, 竹井悠一郎, 川村真美, 渡邊浩幸, 鈴木大進, 岡本威明, ハマアザミ葉の継続摂取は抗原特異 IgA を増加させる, 第 64 回日本家政学会中国・四国大会, 岡山 (2017. 9. 30-10. 1)
7. 渡邊浩幸, 川村 真美, 田中 守, マウスへの各種脂肪酸組成の高脂肪食の投与が体脂肪及び血中 BDNF 濃度に及ぼす影響, 第 38 回日本肥満学会, 大阪(2017. 10. 7-8)
8. 田中 守, 鈴木大進, 竹井悠一郎, 川村真美, 渡邊浩幸, In vitro 及び in vivo における *Cirsium maritimum* Makino の抗アレルギー効果, 第 50 回日本栄養・食糧学会中国・四国支部大会, 鳥取 (2017. 11. 11-12)
9. 竹井悠一郎, 田中 守, 隅田有公子, 川村真美, 渡邊浩幸, 柑橘類含有成分オーラプテンによる動脈瘤形成抑制効果の検討, 第 50 回日本栄養・食糧学会中国・四国支部大会, 鳥取 (2017. 11. 11-12)

#### 【報告書】

1. 渡邊浩幸, 彼末富貴 (2017) 佐川町加茂地区で続けられている味噌づくりの起源調査と地域の未市づくりを介した域学共生の実践. p 12-318. 高知県立大学.

### Ⅲ. 委員会活動

1. 産官学研究部会 (部会長)
2. 地域課題研究部会 (委員)
3. 生涯学習部会 (委員)
4. 国際交流センター員 (委員)
5. 人間生活学研究科博士前期課程学位審査委員 (委員長)
6. 学部運営委員 (学部)
7. 就職担当 (学部)

## IV. 社会的活動

### 【社会貢献活動】

1. 社団法人日本栄養食糧学会代議員
2. 社団法人日本栄養食糧学会中国・四国支部長
3. 社団法人日本脂質栄養学会評議員
4. 日本肥満学会会員
5. 土佐フードビジネスクリエーター(FBC)人材創出 講義担当
6. 高知県事業診査アドバイザー (委員長)
7. 越知町まち・ひと・しごと創生推進会議 (委員)
8. 高知県食の安全・安心推進審議会委員
9. 高知県産学連携会議会員
10. 生産管理高度化情報共有会議会員

### 【講演・講習会】

1. HACCP 管理者 HACCP 講座 (学内講習会)
2. “産官学研究部会ー県民大学としてできることー”
3. 土佐FBC人材創出事業 (食品機能学)

### 【出前授業】

1. 身体の栄養状態、栄養評価について知ってみよう 小津高等学校 (2017. 06. 22)

## V. 研究助成

### 【学外】

1. 受託研究 (高知県立大学) : 牧野富太郎博士ゆかりの有用植物の活用に向けた農商工医連携基盤の構築と事業化モデル
2. 平成 28 年度高知県産学官連携産業創出研究推進事業 : 食用カンナの多分野活用の研究
3. 受託研究 (高知県立大学) : 生姜と体温上昇に関する研究

## I. 教育活動

### 【学部】

- ・公衆栄養学 I
- ・公衆栄養学 II
- ・健康栄養学
- ・地域公衆栄養学実習
- ・地域公衆栄養学臨地実習
- ・地域実践栄養学臨地実習 (共担)
- ・介護論 (オムニバス)
- ・食と介護実習 (オムニバス)
- ・管理栄養士総合演習 I (オムニバス)
- ・管理栄養士総合演習 II (オムニバス)
- ・生活技術援助IV (社会福祉学部) (オムニバス)
- ・卒業研究

## II. 研究活動

### 【学会発表】

1. 荒牧礼子, 野々村瑞穂: 世界一の長寿国日本における世界無形文化遺産「和食」の健康効果, 第 8 回日中文化フォーラム 2017, ベトナム, ダラット大学, (2017. 9. 17-18)
2. 荒牧礼子, 野々村瑞穂: 野菜料理に関する主観的な重量認識と摂取量について, 第 24 回日本未病システム学会学術総会, 横浜, (2017. 11. 4)
3. 荒牧礼子, 國末直宏, 野々村瑞穂: 勤労者における年齢層別食生活変容に結びつく指導効果の検証, 第 24 回日本未病システム学会学術総会, 横浜, (2017. 11. 4)
4. 荒牧礼子: 若年期からの生活習慣病予防の取り組み～野菜摂取増加に向け家庭科教育の視点から, 第 61 回高知県家庭科教育連合会 (2017. 12. 2)

### 【報告書】

1. 荒牧礼子 (2017) 若年期からの生活習慣病予防の取り組み～野菜摂取増加に向け家庭科教育の視点から～, 高知県家庭科教育連合会研究報告集. p 15-20. 2017 高知県家庭科教育連合会, 高知
2. 荒牧礼子 (2017) 保健福祉のあり方を考える啓発事業「食から始めよう認知症予防対策」(中土佐町). p 004-008. 2017 活動報告, 高知県立大学健康長寿センター, 高知

## III. 委員会活動

1. 健康長寿運営委員
2. 健康栄養学部研究倫理審査委員長 (学部)
3. 臨地実習委員 (学部)
4. 国際交流ワーキング委員
5. 学部報編集委員

## IV. 社会的活動

### 【社会貢献活動】

1. 日本未病システム学会評議員
2. 日本栄養・食糧学会会員
3. 日本公衆衛生学会会員



4. 日本栄養改善学会会員
5. 日本職業・災害医学会会員
6. 日本食育学会会員
7. 公益社団法人日本栄養士会会員
8. 公益社団法人高知県栄養士会会員
9. 土佐市とさっ子健診プロジェクトメンバー
10. 第3次南国市食育推進会議委員
11. 高知県小・中・高・大家庭科教育連合会 監査

**【講演・講習会】**

1. 中土佐町食生活推進協議会研修会「介護予防イキイキ食生活」講師 平成29年5月12日 中土佐町地域包括支援センター
2. 健康のつどい健康講話「あなたは大丈夫？食から始める認知障害対策」講師 平成29年8月30日 奈良市立西部公民館
3. 生活習慣病予防講演会「食から始める生活習慣病予防対策」講師 平成29年9月1日 日本触媒工業吹田研究所
3. 土佐清水市介護予防講演会「食から始めよう認知症予防対策」講師 平成29年9月28日 土佐清水市三崎市民センター
4. 高知県栄養士会生涯教育基本研修会「国民の健康の増進の総合的な推進」講師 平成29年9月30日 総合あんしんセンター
5. 保健福祉のありかたを考える保健事業 健康長寿体験型セミナーin 中土佐町「食から始めよう認知症予防対策」講師 平成29年10月12日 中土佐町地域包括支援センター
6. 生活習慣病予防講演会「食から始める生活習慣病予防対策」講師 平成29年10月16日 日本触媒工業姫路製作所
7. 生活習慣病予防講演会「食から始める生活習慣病予防対策」講師 平成29年10月25日 日本触媒工業本社
8. 介護予防講演会「食欲の秋 食から始めよう認知症予防対策」講師 平成29年10月17日 香美市八王子プラザ
9. 健康のつどい健康講話「血液さらさらで若さを保つ」講師 平成29年11月22日 堺市毛穴会館
10. 健康のつどい健康講話「食から始める認知障害対策」講師 平成30年3月12日 神戸市灘区役所

**【その他】**

1. 健康長寿体験型セミナー「認知症になってもいい まちづくりとは」29年11月1日 安田町保健センター
2. とさっ子健診 土佐市保健センター 平成29年8月20日（日）、8月21日（月）
3. とさっ子健診 土佐市保健センター 平成29年12月16日（土）、12月17日（日）

## I. 教育活動

### 【学部】

- ・基礎栄養学
- ・応用栄養学 I
- ・応用栄養学 II
- ・ライフステージ栄養学
- ・基礎栄養学実験
- ・応用栄養学実習
- ・介護等体験 (家庭科)
- ・教育実習 I (家庭科)
- ・教育実習 II (家庭科)
- ・教職実践演習 (家庭科)
- ・管理栄養士総合演習 II (オムニバス)
- ・卒業研究

## II. 研究活動

### 【学会発表】

1. Makiko Suzuk, Miyuki Yokoro, Azusa Nakagawa, Saki Shinooka, Ryoko Takeuchi, Hidenori Kiyosawa. eIF3 p110 is a substrate for CARM1. 2017 年度生命科学系学会合同年次大会, 神戸 (2017. 12. 8)

## III. 委員会活動

1. 入試実施委員
2. センター入試実施委員
3. 教職課程専門委員 (家庭科)
4. 教員免許状更新講習実施部会委員
5. 学年担当 (2014 年度入学生)
6. 研究倫理審査委員
7. 多職種連携による保健福祉医療従事者の力量アップのための講座実施委員
8. 大学院 教務委員
9. 人間生活学研究科 学務委員

## IV. 社会的活動

### 【社会貢献活動】

1. 日本生化学会会員
2. 日本栄養・食糧学会会員
3. 日本栄養改善学会会員
4. 社団法人 日本栄養士会会員
5. 社団法人 高知県栄養士会会員
6. 高知県小・中・高・大家庭科教育連合会理事

### 【講演・講習会】

1. 平成 29 年度家庭科教員免許更新講習 (家庭科) 講師, 高知県教育委員会, 2017 年 8 月 1 日
2. 家庭的保育の研修講義, 講師, 高知県教育委員会, 2017 年 9 月 2 日
3. 職業実践力育成プログラム・履修証明プログラム 多職種連携による保健福祉医療従事者の力量アップのための講座 - 高齢者ケア力の向上に向けて - 「生活習慣病の治療と予防」 2017 年 10 月 15, 21 日

## V. 研究助成

### 【学外】

1. 科学研究費助成事業 学術研究助成基金助成金 基盤研究 (C) 平成 29 年度 「新規卵白アレルゲン L-PGDS の高感度定量法の開発と低アレルゲン化」 80 万円

## I. 教育活動

### 【学部】

- ・調理学
- ・調理学実習 I
- ・調理学実習 II
- ・調理学実習 III
- ・管理栄養士総合演習 II (オムニバス)
- ・卒業研究

## II. 研究活動

### 【著書】

小松美智, 小林正子, 丸谷宣子, 赤松利恵, 高橋孝子, 中澤弥子, 神戸美恵子, 八島 均, 岩間範子, 三井久味子, 岡本ゆかり, 西本文雄, 松下広美, 高木道代, 小浜 明, 下条勝枝, 下元智世, 北村和子, 森本ちづ, 石川利恵, 高木友子, 辻とみ子, 外山健二, 木村祐子, 西岡道子 (2018) 栄養教諭のための学校栄養教育論 補訂 (笠原賀子編), p1-136, 医歯薬出版, 東京.

## III. 委員会活動

1. 教務委員
2. 学部教務委員会
3. 研究倫理審査専門委員会委員 (前期)
4. 第 64 回日本栄養改善学会学術総会実行委員

## IV. 社会的活動

### 【社会貢献活動】

1. 日本栄養食糧学会中国・四国支部監事
2. 日本ビタミン学会会員
3. 日本栄養改善学会会員

### 【講演・講習会】

土佐フードビジネスクリエーター人材創出事業 講師 2017 年 9 月 22 日

### 【その他】

高知医療センター・高知県立大学包括的連携協議会事業 CKD 食事療法手引きの改訂

## I. 教育活動

### 【学部】

- ・給食経営管理論
- ・給食計画論
- ・給食経営管理実習 I・II
- ・給食経営管理臨地実習
- ・地域実践栄養学臨地実習
- ・管理栄養士総合演習 I
- ・管理栄養士総合演習 II
- ・卒業研究

### 【非常勤】

- ・衛生法規 RKC 調理製菓専門学校 製菓衛生師科 (平成 28 年度～)

### 【その他】

- ・教員免許状更新講習 (栄養教諭) 給食経営管理 担当 平成 29 年 8 月 1 日
- ・マレーシア国立サバ大学研修引率 平成 30 年 3 月 2 日～平成 30 年 3 月 18 日

## II. 研究活動

### 【論文】

1. 島田 郁子, 上岡茉由, 森野由加奈, 西美佳, 宮道舞, 山中麻衣, 沼田 聡. 高齢者給食における喫食率向上に関する研究—動物性たんぱく質摂取に着目して—. 高知県立大学健康栄養学部研究紀要. 67 (2018. 3 発行)
2. I. Shimada, S. Numata, M. Tanaka, T. Hirouchi, C. Tokuhiko, K. Watanabe, and T. Okamoto. Creation of Survival food recipes by Students in Practicum for a Dietitian Course at University. Proceedings of the International Conference on Food Science and Nutrition 2017 (ICFSN 2017)
3. I. Shimada, M. Tanaka, T. Hirouchi, K. Watanabe, C. Tokuhiko, and S. Numata. Studies on improving the amount of animal protein intake among the Elderly Application of A meat softener to chicken eggs. Proceedings of the International Conference on Food Science and Nutrition 2017 (ICFSN 2017)
4. C. Tokuhiko, I. Shimada and K. Kitamura. Review of Methods for Evaluating Shokuiku or Dietary Education from the Perspective of School Lunch Officials. Proceedings of the International Conference on Food Science and Nutrition 2017 (ICFSN 2017)
5. K. Watanabe, M. Tanaka, I. Shimada, K. Juman, K. Saga, K. Sakamoto, S. Morita, and M. Yamashita. Characterization Analysis of Loss of Appetite among Cancer patients and Development of a Monitoring Check Sheet Corresponding to Changes in Appetite. Proceedings of the International Conference on Food Science and Nutrition 2017 (ICFSN 2017)

6. S. Numata, M. Tanaka and I. Shimada. Learn from the Region, Grow up in the Region—Student Activities through Rice with Local Government and Regional People. Proceedings of the International Conference on Food Science and Nutrition 2017 (ICFSN 2017)

#### 【分担翻訳】

1. PINES (Professionals in nutrition for exercise and sport) 9-1 P1-2
2. PINES (Professionals in nutrition for exercise and sport) 9-3 P6
3. PINES (Professionals in nutrition for exercise and sport) 8-1 P6  
(NPO 法人日本スポーツ栄養学会会員 HP 掲載)  
<http://www.jsna.org/news/news.html#news2015102801>
4. PINES (Professionals in nutrition for exercise and sport) vol.10-2 P7  
(NPO 法人日本スポーツ栄養学会会員 HP 掲載)
5. PINES (Professionals in nutrition for exercise and sport) vol.10-3 P8-9  
(NPO 法人日本スポーツ栄養学会会員 HP 掲載)

#### 【学会発表】

##### (1) 国際学会発表

1. I. Shimada, S. Numata, M. Tanaka, T. Hirouchi, C. Tokuhiko, K. Watanabe, and T. Okamoto. Creation of Survival food recipes by Students in Practicum for a Dietitian Course at University. The International Conference on Food Science and Nutrition 2017 (ICFSN 2017)
2. I. Shimada, M. Tanaka, T. Hirouchi, K. Watanabe, C. Tokuhiko, and S. Numata. Studies on improving the amount of animal protein intake among the Elderly Application of A meat softener to chicken eggs. The International Conference on Food Science and Nutrition 2017 (ICFSN 2017)
3. C. Tokuhiko, I. Shimada and K. Kitamura. Review of Methods for Evaluating Shokuiku or Dietary Education from the Perspective of School Lunch Officials. The International Conference on Food Science and Nutrition 2017 (ICFSN 2017)
4. K. Watanabe, M. Tanaka, I. Shimada, K. Juman, K. Saga, K. Sakamoto, S. Morita, and M. Yamashita. Characterization Analysis of Loss of Appetite among Cancer patients and Development of a Monitoring Check Sheet Corresponding to Changes in Appetite. The International Conference on Food Science and Nutrition 2017 (ICFSN 2017)
5. T. Matsubara, I. Shimada Let's have fun at Nutrition Lecture Based on survey on nutrition and health of day care for Senior. The International Conference on Food Science and Nutrition 2017 (ICFSN 2017)

##### (2) 国内学会発表

1. 徳広千恵, 島田郁子, 北村和子. 食育の評価指標の検討 -学校給食関係者の地場産物活用に関する意識や行動に関する調査を基に- 第71回日本栄養・食糧学会大会, 沖縄 (2017. 5. 21)
2. 沼田聡, 島田郁子, 橋田誠一. オボアルブミンに対する新規の高感度酵素免疫測定法の開発. 第71回日本栄養・食糧学会大会, 沖縄 (2017. 5. 21)

3. 長田梨沙, 上野美紀, 山本拓未, 小國鮎佳, 加藤由衣, 稲井玲子, 島田郁子. 食を通じた子どもの居場所づくりを目指して☆子どもみらい塾☆すぴかの活動. 第12回日本食育学術会議, 岡山 (2017. 6. 25)
4. 島田郁子, 沼田聡. 満足度および健康維持に寄与できる弁当に向けてー高知県四万十町におけるニーズ調査ー. 第64回日本栄養改善学会学術総会, 徳島 (2017. 9. )
5. 沼田聡, 島田郁子. 地域に学び、地域で育つ～自治体と地域の方々との米を通じた課外活動～地域に学び、地域で育つ～自治体と地域の方々との米を通じた課外活動～. 第64回日本栄養改善学会学術総会, 徳島 (2017. 9. )
6. 廣内智子, 島田郁子. 東日本大震災の避難所生活における食料供給の実態調査ー東日本大震災の食事画像分析からー. 第64回日本栄養改善学会学術総会, 徳島 (2017. 9. )
7. 島田郁子, 山中麻衣, 岩原甘奈, 杉本有澄, 竹中美紀子, 田中希歩, 中曾佳奈, 中町玲香, 沼田聡. 手づくりキッチンにおける衛生面・安全面での課題. 第13回日本給食経営管理学会学術総会, 札幌 (2017. 11)

### Ⅲ. 委員会活動

1. キャリア支援部会 副部会長
2. 学生支援委員会
3. 国際交流 WG メンバー
4. 臨地実習委員会

### Ⅳ. 社会的活動

#### 【社会貢献活動】

1. 土佐市社会福祉事業団理事
2. 土佐市立学校給食センター運営審議会委員 (継続)
3. 土佐市学校給食センター建設工事基本設計及び実施設計委託業務に係る公募型技術提案審査委員
4. 南国市学校給食センター建設委員会委員
5. 高知市学校給食調理業務に係るプロポーザル選定委員会委員
6. 安芸市学校給食運営委員 (継続)
7. 南国市学校給食センター運営委員

#### 【その他】

1. NPO 法人日本スポーツ栄養学会 国際交流委員会委員 (翻訳チーム)
2. 第64回 日本栄養改善学会学術総会 実行委員会 学術委員会委員  
平成29年9月13日～9月15日 アスティ徳島
3. 高知県立大学同窓会 しらさぎ会理事
4. 地域活性学会査読者

#### 【講演・講習会】

1. 松山東高等学校 スーパーグローバルハイスクール事業 「海外の学校給食について」  
講義 2017年6月19日
2. 包括連携・健康栄養学部 FD 研修会 「地域学実習Ⅰ・Ⅱについて」講師 2017年6月17日
3. 高知県栄養士会 JDA-DAT (日本栄養士会災害支援栄養士) スタッフ育成研修  
「災害時対応」講義 および「災害時対応 (災害時レシピ)」演習 2017年7月22日

4. 高知県産業振興推進部 地産地消・外商課栄養成分表示研修 2017年8月18日  
2018年2月9日
5. 南国市立香長中学校 南国市教育委員会 南国市立教育研究所 「災害時における食の対応」 講師 2017年8月23日
6. 香美市社会福祉協議会香北支所 「災害を食で乗り切る」 講師  
2017年8月30日
7. HACCP 管理者 HACCP 講座 2017年9月28日～9月30日

## V. 研究助成

平成 29 年度 高知県立大学 戦略的研究推進プロジェクト 共同研究者（2 年間 114 万 8 千円）中山間地域における生活圏の確保に向けてー土佐郡大川村における地域創造

## I. 教育活動

### 【学部】

- ・臨床栄養学 I
- ・臨床栄養学 II
- ・臨床栄養学 III
- ・臨床実践栄養学
- ・介護論(分担)
- ・栄養学 (看護学科、分担)
- ・栄養と疾患 (永国寺夜間主、隔年開講)
- ・管理栄養士総合演習 I (分担)
- ・管理栄養士総合演習 II (分担)
- ・臨床栄養学臨地実習 I
- ・臨床栄養学臨地実習 II
- ・地域実践栄養学臨地実習
- ・食と介護 (分担)
- ・卒業研究

### 【大学院・人間生活学研究科 (修士課程)】

- ・栄養・生活特論 I (分担)
- ・人間栄養論 II (分担、隔年開講)

## II. 研究活動

### 【論文】

1. M. Tanaka, M. Suzuki, Y. Takei, T. Okamoto, H. Watanabe. (2017) *Cirsium maritimum* Makino Inhibits the Antigen/Immunoglobulin-E-Mediated Allergic Response In Vitro and In Vivo. *J Agric Food Chem.* 65(38), 8386-8391.
2. 田中守、鈴木大進、竹井悠一郎、川村真美、渡邊浩幸 (2017) マウスの抗体産生能に及ぼすハマアザミ酢酸エチル抽出物の影響 *日本未病システム学会雑誌* 23(2), 23-29.
3. T. Tanaka, Y. Takei, N. Zaima, T. Moriyama, D. Yamanouchi. (2017) Hyperglycemia Suppresses RANKL-Induced Osteoclast Differentiation through LXR $\beta$  Expression in RAW264.7 Cells. *J Nutr Sci Vitaminol (Tokyo).* 63(1), 28-34.

### 【学会発表】

1. 竹井悠一郎、田中守、隅田有公子、川村真美、渡邊浩幸 柑橘類含有成分オーラプテンによる動脈瘤形成抑制効果の検討 日本栄養・食糧学会中国・四国支部会 鳥取 (2017年11月12日)
2. 田中 守、鈴木大進、竹井悠一郎、川村真美、渡邊浩幸 In vitro 及び in vivo における *Cirsium maritimum* Makino の抗アレルギー効果 第50回日本栄養・食糧学会中国・四国支部大会 鳥取 (2017年11月12日)
3. Y. Takei, Y. Sumida, M. Tanaka, M. Kawamura and H. Watanabe. Auraptene, a Citrus Flavonoid Attenuates the Aneurysm Formation by Anti-osteoclastogenic Function in Ca-P04-induced mouse model. International Conference of Food Science & Nutrition Malaysia, Sahba (2017 Oct. 25-26<sup>th</sup>)
4. M. Tanaka, M. Suzuki, Y. Takei, T. Okamoto and H. Watanabe. Anti-allergic effects of *Cirsium maritimum* Makino in vitro and in vivo. International Conference of Food Science & Nutrition Malaysia, Sahba (2017 Oct. 25-26<sup>th</sup>)
5. 竹井悠一郎、隅田有公子、田中守、川村真美、渡邊浩幸 柑橘類含有成分オーラプテンは血管における破骨細胞形成を阻害し、動脈瘤形成を抑制させる 第71回日本栄養・食糧学会学術総会 沖縄 (2017年5月19-21日)



6. 田中 守, 鈴木大進, 竹井悠一郎, 岡本威明, 渡邊浩幸 キク科 *Cirsium maritimum* Makino は IgE 依存性アレルギー反応を抑制する 第 71 回日本栄養・食糧学会学術総会 沖縄 (2017 年 5 月 19-21 日)

### III. 委員会活動

1. 共通教務部会
2. 総合情報センター運営委員会 (図書部会、情報処理部会)
3. 遺伝子組換え実験安全委員会
4. 高知医療センター・高知県立大学包括的連携協議会健康栄養連携部会
5. 学部教務委員会
6. 国際交流 WG
7. 臨地実習委員会
8. 学年担当 (平成 29 年度入学生)

### IV. 社会的活動

#### 【社会貢献活動】

1. 日本栄養・食糧学会会員
2. 日本栄養改善学会会員
3. 日本ビタミン学会
4. 日本栄養士会会員
5. 高知県栄養士会会員
6. 日本骨代謝学会会員
7. 日本歯科基礎医学会会員
8. フードサイエンスフォーラム会員
9. 第 64 回日本栄養改善学会学術総会実行委員

#### 【講演・講習会】

1. 土佐女子高等学校出前講座 2017 年 6 月 21 日
2. 平成 29 年度オープンキャンパス模擬授業 臨床栄養学 2017 年 7 月 30 日
3. 高知県教育職員 (栄養教諭・家庭科教員) 免許状更新講習会 2017 年 8 月 1 日
4. 高知県栄養士会生涯教育講習 2017 年 9 月 30 日
5. 愛媛県立八幡浜高等学校出前講座 2017 年 12 月 7 日

#### 【その他】

1. 会場形式進学相談会 高知会場 2017 年 6 月 14 日
2. 高知医療センター・高知県立大学包括的連携協議会連携事業「生活習慣病予防のための料理教室」 2017 年 6 月 24 日
3. 県内 3 大学 医工連携交流会 研究発表 2017 年 7 月 13 日
4. 高等学校等進路指導担当者説明会 広島会場 2017 年 8 月 22 日

### IV. 研究助成

#### 【学外】

1. 平成 29 年度公益財団法人農芸化学研究奨励会 学術関係国際会議出席費補助金
2. 平成 28 年度高知県産学官連携産業創出研究推進事業：食用カンナの他分野活用の研究 共同研究者
3. 受託研究 (高知県立大学)：生姜と体温上昇に関する研究 共同研究者

## I. 教育活動

### 【学部】

- ・ 臨床栄養学実習 I
- ・ 臨床栄養学実習 II
- ・ 臨床栄養学臨地実習 I
- ・ 臨床栄養学臨地実習 II
- ・ 臨床実践栄養学
- ・ 地域実践栄養学臨地実習
- ・ 管理栄養士総合演習 I (オムニバス)
- ・ 管理栄養士総合演習 II (オムニバス)
- ・ 土佐の食と健康 (共通教養) (オムニバス)
- ・ チーム形成論 (共通教養)
- ・ 専門職連携概論 (共通教養)

## II. 研究活動

### 【学会発表】

1. 廣内智子, 島田郁子: 東日本大震災の避難所生活における食料供給の実態調査—東日本大震災の食事画像分析から—, 日本栄養改善学会, 徳島, 2017
2. I. Shimada, S. Numata, M. Tanaka, T.Hirouchi, C.Tokuhiro, K.Watanabe, and T.Okamoto: Creation of Survival food recipes by Students in Practicum for a Dietitian Course at University, (Malaysia) 2017.9
3. I.Shimada, M. Tanaka, T.Hirouchi, K.Watanabe, C.Tokuhiro, and S. Numata : Studies on improving the amount of animal protein intake, (Malaysia) 2017.9

### 【報告書】

1. 生活習慣病予防のための料理教室: 平成 29 年度高知県立大学健康長寿センター2017 活動報告書, 71-76, 2018
2. 県立大・栄養士会合同訓練: 第 38 号栄養士佐はちきん, P18~19, 2018

## III. 委員会活動

1. 紀要編集委員会
2. FD 委員会
3. 災害対策プロジェクト委員会
4. 退院支援事業委員会
5. 包括連携連絡委員会
6. 高知医療センター・高知県立大学包括的連携協議会健康栄養連携部会
7. 管理栄養士国家試験対策委員会
8. 臨地実習委員会

## IV. 社会的活動

### 【社会貢献活動】

1. 日本栄養士会会員
2. 高知県栄養士会会員
3. 日本災害食学会会員
4. 日本栄養改善学会会員
5. 日本栄養・食糧学会会員

6. 日本臨床栄養学会会員
7. 日本病態栄養学会会員
8. 日本静脈経腸栄養学会会員
9. 日本咀嚼学会会員
10. 高知県栄養士会 JDA - DAT スタッフ養成研修会実行委員
11. 第 64 回日本栄養改善学会実行委員

**【講演・講習会】**

1. 訪問看護スタートアップ研修「栄養アセスメントと食事の工夫」講師，2017 年 6 月 14 日，11 月 22 日
2. 生涯教育「第 1 回，第 2 回 JDA-DAT スタッフ養成研修（要配慮者への栄養指導）」講師，高知県立大学，2017 年 7 月 23 日
3. 職業実践力育成プログラム（BP）多職種連携による保険福祉医療従事者の力量アップのための講座－高齢者ケア力の向上に向けて－「チームアプローチⅠ」2017 年 8 月 5 日
4. 調理員研修会「災害時の食支援について」講師，高知県立山田養護学校，2017 年 8 月 22 日
5. 子育て講座「育児のポイントや食育等」講師，サニーフーズ本社，2017 年 9 月 28 日
6. 出前講座「巨大地震に備え今すべき食糧備蓄」講師，高知市立旭日小学校，2017 年 9 月 21 日
7. 就職促進事業講座「健康と栄養・肥満と食事について」講師，香美市地域福祉センター，2017 年 12 月 14 日
8. 退院支援事業カンファレンス「管理栄養士の視点から」講師，大井田病院，2017 年 12 月 22 日
9. 職業実践力育成プログラム（BP）多職種連携による保険福祉医療従事者の力量アップのための講座－高齢者ケア力の向上に向けて－「チームアプローチⅡ」2018 年 1 月 8 日
10. 栄養ケアステーション講座「災害時の食の備え～パッキング教室～」講師，高知保健福祉センター，2018 年 1 月 9 日
11. 生涯学習「元気に歳を重ねるための正しい食生活」講師，江ノロコミュニティーセンター，2018 年 2 月 17 日

**【その他】**

高知医療センター・高知県立大学包括連携協議会連携事業 「生活習慣病予防のための料理教室」平成 29 年 6 月 24 日（土）実施

## V. 研究助成

**【学外】**

1. 科学研究費補助金 若手研究（B）：平成 28－29「発災後の避難所生活における栄養管理に関する研究－東日本大震災の食事画像分析から－」

## 助教 隅田 有公子 (SUMIDA Yukiko)

### I. 教育活動

#### 【学部】

- ・臨床栄養学実習 I (補助)
- ・臨床栄養学実習 II (補助)
- ・地域公衆栄養学実習 (補助)
- ・食と介護 (実習) (補助)
- ・臨床栄養学臨地実習 I (補助)
- ・臨床栄養学臨地実習 II (補助)
- ・地域公衆栄養学臨地実習 (補助)
- ・地域実践栄養学臨地実習 (補助)
- ・管理栄養士総合演習 I (補助)
- ・臨床実践栄養学 (一部補助)
- ・管理栄養士国家試験対策講座
- ・栄養と疾患 (共通教養)
- ・地域学実習 I (共通教養)

### II. 研究活動

#### 【論文】

1. 井上健朗, 隅田有公子, 吉岡理枝, 小原弘子, 森下安子, 池田光徳 (2018) 自治体「地域ケア会議」の質的評価指標の作成の試み. 高知県立大学紀要 社会福祉学部編, 第 67 巻, p1-16.
2. 森下安子, 小原弘子, 井上健朗, 隅田有公子, 吉岡理枝, 池田光徳 (2018) 「地域ケア会議プロジェクト」3年間の活動と成果. 高知県立大学紀要 看護学部編, 第 67 巻, p35-42.

#### 【学会発表】

1. 竹井悠一郎, 隅田有公子, 田中守, 川村真美, 渡邊浩幸. 柑橘類含有成分オーラプテンは血管における破骨細胞形成を阻害し、動脈瘤形成を抑制させる, 第 71 回日本栄養・食糧学会学術総会, 沖縄 (2017. 5. 21)
2. 井上健朗, 隅田有公子, 吉岡理枝, 小原弘子, 森下安子, 池田光徳. 自治体「地域ケア会議」評価指標の作成の試み, 第 22 回日本在宅ケア学会学術集会, 北海道 (2017. 7. 16)
3. 小原弘子, 森下安子, 井上健朗, 隅田有公子, 吉岡理枝, 池田光徳. 自治体「地域ケア会議」運営ガイドラインの作成, 第 22 回日本在宅ケア学会学術集会, 北海道 (2017. 7. 16)
4. 森下安子, 井上健朗, 小原弘子, 隅田有公子, 吉岡理枝, 池田光徳. 自治体「地域ケア会議」評価指標の活用の検討, 第 22 回日本在宅ケア学会学術集会, 北海道 (2017. 7. 16)
5. 小田菜摘, 窪川ひとみ, 清水滯里, 田井友里絵, 隅田有公子, 檜垣俊介, 稲井玲子. 食育活動と成績・生活状況の関連性, 第 64 回日本栄養改善学会学術総会, 徳島 (2017. 9. 15)
6. Y. Takei, Y. Sumida, M. Tanaka, M. Kawamura and H. Watanabe. Auraptene, a Citrus Flavonoid Attenuates the Aneurysm Formation by Anti-osteoclastogenic Function in Ca-P04-induced mouse model. International Conference of Food Science & Nutrition, Malaysia (2017. 10. 26)
7. 竹井悠一郎, 田中守, 隅田有公子, 川村真美, 渡邊浩幸. 柑橘類含有成分オーラプテンによる動脈瘤形成抑制効果の検討, 日本栄養・食糧学会中国・四国支部会, 鳥取 (2017. 11. 12)

#### 【報告書】

1. 隅田有公子 (2018) 「慢性腎臓病 (CKD) 患者さんのための食事療法手引き」改訂, 平成 29 年度高知県立大学健康長寿センター活動報告書, p77-78

### Ⅲ. 委員会活動

1. 入試監査委員
2. 土佐市地域ケア会議推進プロジェクト委員
3. 災害対策プロジェクト委員
4. 管理栄養士国家試験対策委員
5. 臨地実習委員（学部）
6. 学年副担当（2017年度入学生）
7. 立志社中実行委員

### Ⅳ. 社会的活動

#### 【社会貢献活動】

1. 公益社団法人 日本栄養士会会員
2. 公益社団法人 高知県栄養士会会員
3. 日本栄養改善学会会員
4. 日本病態栄養学会会員
5. 日本静脈経腸栄養学会会員
6. 第64回日本栄養改善学会学術総会実行委員

#### 【講演・講習会】

1. 高知県栄養士会平成29年度 JDA-DAT スタッフ養成研修会講師「栄養アセスメント」2017年7月23日

#### 【その他】

1. 学生プロジェクト立志社中「それいけ！大野見エコ米～No Rice No life～」担当教員
2. 高知医療センター・高知県立大学包括連携協議会連携事業「生活習慣病予防のための料理教室」2017年6月24日

### Ⅴ. 研究助成

#### 【学外】

1. 科学研究費補助金 若手研究（B）：平成29-30年度「臨床の場で行われている経腸栄養剤の半固形化法の問題解析と標準化法の提案」

## I. 教育活動

### 【学部】

- ・ 生化学実験 (補助)
- ・ 基礎栄養学実験 (補助)
- ・ 環境衛生学実習 (補助)
- ・ 運動生理学 (補助)
- ・ 健康栄養学基礎 (オムニバス)

### 【全学】

- ・ 地域学実習 I
- ・ 地域学実習 II (補佐)

### 【非常勤】

- ・ 高知情報ビジネス専門学校製菓製パン科 食品学

## II. 研究活動

### 【論文】

1. 田中 守, 鈴木大進, 竹井悠一郎, 川村真美, 渡邊浩幸 (2017) マウスの抗体産生能に及ぼすハマアザミ酢酸エチル抽出物の影響. 日本未病システム学会雑誌 **23**, 23-29.
2. Ngatu, NR., Ikeda, M., Watanabe, H., Tanaka, M., Inoue, M. (2017) Laxative Effects of Dietary Supplementation with Sujiaonori Algal Biomaterial in Japanese Adult Women with Functional Constipation: A Case Study. Journal of Functional Biomaterials, 8, doi:10.3390/jfb8020015.
3. Ngatu, NR., Tanaka, M., Ikeda, M., Inoue, M., Kanbara, S., Nojima, S. (2017) Sujiaonori-derived Algal Biomaterials Inhibit Allergic Reaction in Allergen-sensitized RBL-2H3 Cell Line and Improve Skin Health in Humans. Journal of Functional Biomaterials, 8, doi:10.3390/jfb8030037
4. Tanaka, M., Suzuki, M., Takei, Y., Okamoto, T., Watanabe, H. (2017) *Cirsium maritimum* Makino Inhibits the Antigen/IgE-mediated Allergic Response *In Vitro* and *In Vivo*. Journal of Agricultural and Food Chemistry, **65**, 8386-8391.

### 【著書】

1. Asao, T., Asaduzzaman, M., (編著) Tanaka, M., et al. (2017) Amino Acid -New Insights and Roles in Plant and Animal, Chapter2: Anti-Allergic Effects of His-Ala-Gln Tripeptide and Characteristic of Peptide-Related Amino Acids, INTECH, ISBN 978-953-51-5453-2, pp.15-29.

### 【学会発表】

1. 田中 守, 鈴木大進, 竹井悠一郎, 岡本威明, 渡邊浩幸. キク科 *Cirsium maritimum* Makino は IgE 依存性アレルギー反応を抑制する, 第 71 回 日本栄養・食糧学会大会, 沖縄 (2017. 5. 20) .
2. 竹井悠一郎, 隅田有公子, 田中 守, 川村真美, 渡邊浩幸. 柑橘類含有成分オーラプテンは血管における破骨細胞形成を阻害し, 動脈瘤形成を抑制させる, 第 71 回 日本栄養・食糧学会大会, 沖縄 (2017. 5. 20) .
3. 田中 守, 川北浩久, 渡邊浩幸. 海洋深層水の抗アレルギー効果, 日本家政学会第 69 回大会, 奈良 (2017. 5. 27-28) .

4. 岡本威明, 松本琴音, 熊澤遥奈, 河原林桃子, 田中 守. 生体内外におけるシークワサー一葉・果皮抽出物の抗アレルギー効果, 日本家政学会第 69 回大会, 奈良 (2017.5.27-28) .
5. 田中 守, 香西はな. シンポジウム「基礎と現場をつなぐ子どもたちの食物アレルギー問題 ～運動誘発アナフィラキシーの視点から～」シンポジスト, 「小麦依存性運動誘発アナフィラキシーにおけるアレルギー特性と運動の役割」, 第 72 回日本体力医学会大会, 愛媛 (2017.9.16-18) .
6. 田中 守, 竹井悠一郎, 川村真美, 渡邊浩幸, 鈴木大進, 岡本威明. ハマアザミ葉の継続摂取は抗原特異 IgA を増加させる, 第 64 回日本家政学会中国・四国大会, 岡山 (2017.9.30-10.1) .
7. Tanaka, M., Suzuki, M., Takei, Y., Okamoto, T., and Watanabe, H.: Anti-allergic effects of *Cirsium maritimum* Makino *in vitro* and *in vivo*, International Conference on Food Science and Nutrition 2017 (2017.10.25-26).
8. Takei, Y., Sumida, Y., Tanaka, M., Kawamura, M., and Watanabe, H.: Auraptene, a citrus flavonoid attenuates the aneurysm formation by anti-osteoclastogenic function in Ca-PO<sub>4</sub>-induced mouse model, International Conference on Food Science and Nutrition 2017 (2017.10.25-26).
9. Watanabe, K., Tanaka, M., Shimada, I., and Morita, S.: Development and implementing of a monitoring check sheet corresponding to changes in appetite among cancer patients, International Conference on Food Science and Nutrition 2017 (2017.10.25-26).
10. Numata, S., Tanaka, M., and Shimada, I.: Learn from the region, grow up in the region -student activities through rice with local government and regional people, International Conference on Food Science and Nutrition 2017 (2017.10.25-26).
11. Okamoto, T. Matsumoto, K., Kumazawa, H., Kawarabayashi, M., Tanaka, M.: Anti-allergic effects of Shiikuwasha (*Citrus depressa* Hayata) *in vitro* and *in vivo*, International Conference on Food Science and Nutrition 2017 (2017.10.25-26).
12. Shimada, I., Numata, S., Tanaka, M., Hirouchi, T., Tokuhiko, C., Watanabe, K., Okamoto, S.: Creation of Survival food recipes by Students in Practicum for a Dietitian Course at University, International Conference on Food Science and Nutrition 2017 (2017.10.25-26).
13. Shimada, I., Tanaka, M., Hirouchi, T., Watanabe, K., Tokuhiko, C., Numata, S.: Studies on improving the amount of animal protein intake among the Elderly Application of A meat softener to chicken eggs, International Conference on Food Science and Nutrition 2017 (2017.10.25-26).
14. 渡邊浩幸, 川村 真美, 田中 守. マウスへの各種脂肪酸組成の高脂肪食の投与が体脂肪及び血中 BDNF 濃度に及ぼす影響, 第 38 回日本肥満学会, 大阪 (2017.10.7-8) .
15. 田中 守, 鈴木大進, 竹井悠一郎, 川村真美, 渡邊浩幸. *In vitro* 及び *in vivo* における *Cirsium maritimum* Makino の抗アレルギー効果, 第 50 回日本栄養・食糧学会中国・四国支部大会, 鳥取 (2017.11.11-12) .

16. 竹井悠一郎, 田中 守, 隅田有公子, 川村真美, 渡邊浩幸. 柑橘類含有成分オーラプテンによる動脈瘤形成抑制効果の検討, 第 50 回日本栄養・食糧学会中国・四国支部大会, 鳥取 (2017. 11. 11-12) .
17. 香西はな, 藤原美佳, 稲垣七重, 田中 守. 食物アレルギー児に対する保育所給食の対応—誤食ゼロを目指して—, 第 13 回日本給食経営管理学会学術総会, 北海道, (2017. 11. 25-26)
18. 田中 守, 渡邊浩幸. ハマアザミは抗原/IgE 依存性アレルギー反応を抑制し、抗原特異 IgA を増加させる, 第 11 回高知大学&高知工科大学&高知県立大学医工連携交流会, 高知 (2018. 2. 16)
19. Ngatu, NR., Ikeda, M., Tanaka, M., Kanbara, S., Nojima, S. Health effect of dietary supplementation with Sujiaonori biomaterial, 第 11 回高知大学&高知工科大学&高知県立大学医工連携交流会, 高知 (2018. 2. 16)

#### 【報告書】

1. 田中 守, 香西はな (2018) 小麦依存性運動誘発アナフィラキシーにおけるアレルギー特性と運動の役割. 体力科学, **67**, 56
2. 田中 守 (2018) 栄養・食糧学基金助成国際交流助成報告. International Conference on Food Science and Nutrition 2017 における研究発表を通して, 日本栄養食糧学会誌, **71**, 41.

### Ⅲ. 委員会活動

1. 入試監査委員
2. 学年副担任 (2014 年度入学生)
3. 立志社中運営委員会委員

### Ⅳ. 社会的活動

#### 【社会貢献活動】

1. 日本栄養食糧学会会員
2. 日本栄養食糧学会 中国・四国支部庶務幹事
3. 日本食品科学工学会会員
4. 公益社団法人日本栄養士会会員
5. 公益社団法人高知県栄養士会会員
6. 公益社団法人高知県栄養士会会員・生涯学習委員会メンバー
7. 日本家政学会会員
8. 日本家政学会常任幹事・機関幹事
9. 日本未病システム学会会員
10. 日本食品保蔵科学学会会員

#### 【講演・講習会】

1. 高知県立宿毛高等学校出前講座 (高大連携) 「食べ物の魅力と食事バランスの大切さについて」 2017 年 12 月 13 日
2. 健康食品管理士会四国支部高知県部会 総会・研修会「食品成分と抗アレルギー性」 2018 年 1 月 21 日



## 【その他】

1. 学生プロジェクト立志社中「それいけ！大野見エコ米～No Rice No Life～」指導者

## V. 研究助成

### 【学外】

1. 分担研究 科学研究費補助金 基盤研究 (C) :平成 27-29 年度「新規卵白アレルギー L-PGDS の高感度定量法の開発と低アレルギー化」 主任研究者：鈴木麻希子（高知県立大学）468 万円
2. 代表研究 科学研究費補助金 若手研究 (B) :平成 28-30 年度「高知県に自生する未利用天然資源の機能性評価－抗アレルギー活性を指標として－」364 万円
3. 分担研究 高知県産学官連携産業創出研究推進事業（中期テーマ）：平成 28-30 年度「食用カンナの多分野活用の研究」2,990.8 万円
4. 分担研究 受託研究（公益財団法人 高知県牧野記念財団 高知県立牧野植物園）：「牧野富太郎ゆかりの有用植物の活用に向けた農商工医連携基盤の構築と事業化モデル」研究代表者：渡邊浩幸（高知県立大学）50 万円
5. 分担研究 受託研究（株式会社 協和）：「生姜と体温上昇に関する研究」研究代表者：渡邊浩幸（高知県立大学）389.4 万円
6. 栄養・食糧学基金助成国際交流助成：平成 29 年度「Anti-allergic Effects of *Cirsium maritimum* Makino *In Vitro* and *In Vivo*」10 万円

## I. 教育活動

### 【学部】

- ・健康栄養学基礎 (オムニバス)
- ・給食経営管理実習 I・II (補助)
- ・地域実践栄養学臨地実習 (補助)
- ・給食経営管理臨地実習 (補助)
- ・管理栄養士総合演習 I (補助)
- ・応用栄養学実習 (補助)
- ・環境衛生学実習 (補助)
- ・地域学実習 II (補助)
- ・栄養学 (オムニバス) (看護学部)

### 【非常勤】

- ・学校法人龍馬学園 高知情報ビジネス専門学校 製菓製パン科 栄養学

## II. 研究活動

### 【論文】

1. 渡邊慶子、沼田 聡、島田郁子、佐賀啓子、田中 守 (2017) がん患者における食事摂取支援食導入による効果. 日本農村医学会雑誌 65 (4), 758-765.
2. 島田郁子、隅田有公子、沼田 聡 (2017) 地域に根差した食育活動—子育て応援団すこやか のあゆみ—. 高知県立大学紀要健康栄養学部編 66, 19-23.

### 【学会発表】

1. 沼田 聡、島田 郁子、橋田誠一. オボアルブミンに対する 高感度酵素免疫測定法の開発, 第 71 回日本栄養食糧学会大会, 沖縄 (2017. 5. 19-21)
2. 沼田 聡、島田 郁子. 地域に学び、地域で育つ～自治体と地域の方々の米を通じた課外活動～, 第 64 回日本栄養改善学会学術総会, 徳島 (2017. 9. 13-15)
3. 島田 郁子、沼田 聡. 満足度および健康維持に寄与できる弁当に向けて—高知県四万十町におけるニーズ調査—, 第 64 回日本栄養改善学会学術総会, 徳島 (2017. 9. 13-15)
4. S. Numata, M. Tanaka, I. Shimada. Learn from the Region, Grow up in the Region —Student Activities Through Rice with Local Government and Regional People—. ICFSN 2017, Malaysia (2017. 10. 25-26)
5. I. Shimada, S. Numata, M. Tanaka, T. Hirouchi, C. Tokuhiko, K. Watanabe, T. Okamoto. Creating Survival Food Recipes by Students at Practicum of University of Dietitian Course. ICFSN 2017, Malaysia (2017. 10. 25-26)
6. I. Shimada, M. Tanaka, T. Hirouchi, K. Watanabe, C. Tokuhiko, S. Numata. Studies on Improving the Amount of Animal Protein Intake among the Elderly Application of a Meat Softener to Chicken Eggs. ICFSN 2017, Malaysia (2017. 10. 25-26)
7. 沼田 聡、片上秀喜、井上忍、澤田浩武、橋田誠一. インスリン自己抗体に対する高感度酵素免疫測定法の開発. 第 50 回日本栄養食糧学会中四国支部大会, 鳥取 (2017. 11. 11-12)

8. 島田郁子、岩原甘奈、杉本有澄、竹中美紀子、田中希歩、中曾佳奈、中町玲香、沼田 聡.  
手づくりキッチンにおける衛生面・安全面での課題. 第13回日本給食経営管理学会学術総  
会, 北海道 (2017. 11. 25~26)

#### 【報告書】

1. 沼田 聡、片上秀喜、井上 忍、澤田浩武、橋田誠一 (2017) 緩徐進行1型糖尿病の早期診  
断に向けての取り組み - 膵島関連自己抗体 (GAD抗体、IA-2抗体、インスリン自己抗体)  
に対する超高感度酵素免疫測定法の開発及びその応用-. p161. 臨床化学 46 (2).
2. S. Numata, M. Tanaka, and I. Shimada (2018) Learn from the Region, Grow up in the  
Region - Student Activities through Rice with Local Government and Regional  
People. p83-87. ICFSN 2017, Malaysia.
3. I. Shimada, M. Tanaka, T. Hirouchi, K. Wataanbe, C. Tokuhiko, and S. Numata  
(2018) Studies on Improving the Amount of Animal Protein Intake among the  
Elderly Application of a Meat Softener to Chicken Eggs. p136-140. ICFSN 2017,  
Malaysia.
4. I. Shimada, S. Numata, M. Tanaka, T. Hirouchi, C. Tokuhiko, K. Watanabe and T.  
Okamoto (2018) Creating Survival Food Recipes by Students at Practicum of  
University of Dietitian Course. p147-150. ICFSN 2017, Malaysia.

#### 【その他】

1. 沼田 聡 (2017) 指導者のための健康栄養セミナー. 栄養土佐はちきん (高知県栄養士会会  
報誌) Vol. 37, 16-17.

### Ⅲ. 委員会活動

1. 入試実施委員
2. 健康長寿センター運営委員
3. 立志社中実行委員
4. 臨地実習委員 (学部)
5. 学年副担任 (2015年度入学生)

### Ⅳ. 社会的活動

#### 【社会貢献活動】

1. 公益社団法人日本栄養士会会員
2. 公益社団法人高知県栄養士会会員
3. 公益社団法人高知県栄養士会研究教育事業部理事
4. 日本栄養食糧学会会員
5. 日本栄養改善学会会員
6. 日本給食経営管理学会会員
7. 日本食品保蔵科学会会員
8. 日本農村医学会会員
9. 日本臨床化学会会員
10. 第64回日本栄養改善学会学術総会実行委員

#### 【講演・講習会】

1. 高知県立大学健康栄養学部 FD 研修会「地域学実習での学生指導について」講師 2017 年 6 月 26 日
2. 高知県立大学・高知県栄養士会主催「栄養ワNDER2017 -栄養士・管理栄養士を目指すあなたへ-」講師 2017 年 7 月 30 日

#### 【その他】

1. 高知県栄養士会主催「第 1 回 JDA-DAT スタッフ養成研修会」運営責任者 2017 年 7 月 22 日
2. 高知県栄養士会主催「第 2 回 JDA-DAT スタッフ養成研修会」運営責任者 2017 年 7 月 23 日
3. 第 64 回日本栄養改善学会学術総会「高知県栄養士会展示」高知県栄養士会活動紹介ポスター作成および紹介 2017 年 9 月 13～15 日
4. 日本食品保蔵科学会主催「HACCP 管理者認定 HACCP ワークショップ」運営スタッフ 2017 年 9 月 23 日、29～30 日
5. 高知県立大学健康長寿センター主催「食から始めよう認知症予防対策」司会兼体験セミナー担当者 2017 年 10 月 12 日
6. 高知県立大学健康長寿センター主催「物忘れから始める認知症予防」健康栄養学部体験コーナー担当者 2017 年 10 月 16 日
7. 高知県栄養士会・日本栄養士会主催「平成 29 年度 食生活と植物油栄養に関する講習会」運営スタッフ 2017 年 11 月 3 日
8. 高知県立大学健康長寿センター主催「地域で取り組む 健康づくりと介護予防」健康栄養学部体験コーナー担当者 2017 年 12 月 6 日
9. 高知県栄養士会主催「第 3 回 JDA-DAT スタッフ養成研修会」運営責任者 2018 年 1 月 21 日
10. 高知県栄養士会研究教育事業部伝達講習会 議事進行 2018 年 2 月 22 日

## V. 研究助成

#### 【学外】

1. 科学研究費補助金 基盤研究 (C) : 平成 27 - 29 年度「新規卵白アレルゲン L-PGDS の高感度定量法の開発と低アレルゲン化」分担研究

### I. 教育活動

#### 【学部】

- ・調理学実習 I
- ・調理学実習 II
- ・調理学実習 III
- ・生体科学実験・実習
- ・食品衛生学実験(オムニバス)
- ・土佐の食と健康 (ゲストスピーカー)
- ・地域学実習 II

### II. 研究活動

#### 【論文】

彼末富貴, 渡邊浩幸, (2018) 魚食普及の推進を目的としたおさかな親子料理教室の活動報告, 高知県立大学紀要 健康栄養学部編 第67巻, 9-14

#### 【報告書】

渡邊浩幸, 彼末富貴 (2017) 佐川町加茂地区で続けられている味噌づくりの起源調査と地域の味噌づくりを介した域学共生の実践. 地域連携事業報告集 第4号 p12-19.

#### 【その他】

1. 小松利子, 松崎淳子, 彼末富貴 (2017) 平成30年度版ファミリー日誌「柚子」. 全国農林統計協会連合会 230-231, 261
2. 彼末富貴 (2017) うまいもんレシピ「豚肉」. 玉手箱 Vol. 104. (社福) 高知県社会福祉協議会, p 12

### III. 委員会活動

1. 学部広報委員
2. 学部報編集委員

### IV. 社会的活動

#### 【社会貢献活動】

1. 高知市春野郷土資料館運営審議会委員
2. よい食生活をすすめるネットワーク役員
3. 土佐伝統食研究会会員
4. 高知県栄養士会生涯教育委員会委員
5. 日本栄養改善学会会員
6. 社団法人日本家政学会会員
7. 社団法人日本調理科学会会員

#### 【講演・講習会等】

1. 第1回 WG (伝統的食文化の継承) 講師 十和地域振興局第2会議室 2017年8月23日
2. 第4回 WG (伝統的食文化の継承) 講師 四万十町本庁 東庁舎 2017年11月9日
3. 出前講座「魚の料理教室」講師 南国市久礼田小学校 2017年9月29日
4. ふるさとの台所料理教室「こぶずし、鯨の暮れの煮物他」講師 サニーマートキッチンプラス 2017年12月10日
5. 潮江東小学校5年「土佐の雑煮」の学習 講師 高知市立潮江東小学校 2017年12月11日

6. ソーレまつり 2018 親子でご飯づくり～田舎ずしをつくってみよう！～ 講師 こうち男女共同参画ソーレセンター 2018年1月27日
7. 伝統食を次世代につなぐために 講師 鳥取県日南町役場 2018年2月14日

**【その他】**

1. 第6回ものづくり総合技術展 本学展示協力 高知市, 2017年11月16日(木)～18日(土)
2. 「にちなんの邑の味(第2弾)」編集指導 編集 日南町食育推進協議会 2018年3月

## I. 教育活動

### 【学部】

- ・食品学実験 I
- ・食品学実験 II
- ・食品衛生学実験(オムニバス)
- ・栄養教育論実習 I
- ・栄養教育論実習 II

## II. 研究活動

### 【学術論文】

1. 田中守, 鈴木大進, 竹井悠一郎, 川村真美, 渡邊浩幸. マウスの抗体産生能に及ぼすハマアザミ酢酸メチル抽出物の影響, The Journal of Japan Mibyou Sistem Association Vol.23, No. 2, pp.23-29, 2017, 2017年9月

### 【学会発表】

#### 国際学会

1. Y. Takei, Y. Sumida, M. Tanaka, M. Kawamura and H. Watanabe, Auraptene, a Citrus Flavonoid Attenuates the Aneurysm Formation by Anti-osteoclastogenic Function in Ca-P04-induced mouse model. International Conference of Food Science & Nutrition, H29年10月26日

#### 国内学会

1. 渡邊浩幸, 谷本佳史, 川村真美, 田中 守. マウス肝癌細胞培養時の培地中の各種アミノ酸がメチル基転移酵素群の遺伝子発現に及ぼす影響, 第71回日本栄養・食糧学会大会(沖縄) H29年5月21日
2. 竹井悠一郎, 隅田有公子, 田中守, 川村真美, 渡邊浩幸. 柑橘類含有成分オーラプテンは血管における破骨細胞形成を阻害し、動脈瘤形成を抑制させる, 第71回日本栄養・食糧学会大会(沖縄) H29年5月21日
3. 竹井悠一郎, 田中守, 隅田有公子, 川村真美, 渡邊浩幸. 柑橘類含有成分オーラプテンによる動脈瘤形成抑制効果の検討, 第50回日本栄養・食糧学会中国・四国支部会(鳥取) H29年11月12日
4. 田中 守, 竹井悠一郎, 川村真美, 渡邊浩幸, 鈴木大進, 岡本威明. ハマアザミ葉の継続摂取は抗原特異IgAを増加させる, 第64回日本家政学会中国・四国大会 H29年10月26日
5. 田中 守, 鈴木大進, 竹井悠一郎, 川村真美, 渡邊浩幸. In vitro 及び in vivo における *Cirsium maritimum* Makino の抗アレルギー効果, 第50回日本栄養・食糧学会中国・四国支部会(鳥取), H29年11月12日
6. 渡邊浩幸, 川村真美, 田中 守. マウスへの各種脂肪酸組成の高脂肪食の投与が体脂肪及び血中BDMF濃度に及ぼす影響, 第38回日本肥満学会(大阪), H29年10月8日

## III. 委員会活動

1. 学部就職支援担当委員
2. 学部親交会運営委員

#### IV. 社会的活動

##### 【社会貢献活動】

1. 日本栄養・食糧学会会員
2. 日本肥満学会会員
3. 日本栄養改善学会会員
4. 公益社団法人 日本栄養士会会員
5. 公益社団法人 高知県栄養士会会員
6. 日本栄養・食糧学会中国四国支部会計幹事
7. 日本栄養改善学会大会実行委員

##### 【その他】

1. 第6回ものづくり総合技術展 本学展示ブース準備運営協力スタッフ, 高知市(2017. 11. 16~17)
2. 第48回地域医療連携研修会 認知症～特に予防について～など 高知医療センター 参加、2018/02/03 (土)
3. 生活リズムと食のセミナー in 高知 日本食育学会主催 高知県立大学大講義室 参加、2018/02/10 (土)
4. 平成29年度高知県社会的課題に対応するための学校給食の活用事業報告会 サンピアシリーズ 参加、高知県教育委員会事務局 j 保健体育課 2018/02/19 (月)
5. 高知医療センター NST 運営部会・栄養局 8月NST勉強会 「口内環境と食事摂取について」講師：歯科口腔外科 立本行宏医師 参加、2017/09/29(金)



高知県立大学健康栄養学部 学部報 第8号  
平成29(2017)年度版

発行日：平成30年10月1日

編集：高知県立大学健康栄養学部 学部報編集委員

発行：高知県立大学健康栄養学部

〒781-8515 高知市池2751番地1

電話 (088) 847-8700(代)